

# 選挙に関するアンケート調査結果報告書

## (平成29年度)



前橋市選挙管理委員会・前橋市明るい選挙推進協議会

# 目 次

1	調査の概要	
	選挙に関するアンケート実施概要	1
2	単純集計結果	
	単純集計結果	2
3	クロス集計結果	
	クロス集計結果	17
4	その他の集計結果	
	その他の集計結果	31
5	各質問の「その他」欄に記載されていた主な意見	
	各質問の「その他」欄に記載されていた主な意見	34
6	問15に記載されていた主な意見	
	問15に記載されていた主な意見	36
7	アンケート様式	
	アンケート様式	38

注意:本書に記載されている割合は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない場合があります。

選挙に関するアンケート

## 1 調査の概要



## 選挙に関するアンケート実施概要

<b>調査テーマ</b>	各年代の選挙に対する意識を比較検討することで、低投票率改善方策検討のための基礎的資料を作成する。
<b>調査目的</b>	18歳、19歳が新たに有権者として加わった今、特に若年層における最近の低投票率は顕著であるため、若年層の選挙期日の認知手段や投票行動を調査分析し、今後のより効果的な啓発事業計画の基礎的知見とする。
<b>調査主体</b>	前橋市選挙管理委員会、前橋市明るい選挙推進協議会
<b>協力(集計・分析)</b>	共愛学園前橋国際大学 平田教授及び学生(25人)
<b>調査方法</b>	標本調査(郵送調査及び集合調査)
<b>調査依頼数</b>	<p>【郵送調査】 平成29年9月1日現在、住民基本台帳に記載されている満18歳以上満29歳以下の無作為抽出 700件</p> <p>【集合調査】 ①公民館利用者(16公民館) 1,900件 (中央公民館400件、中央公民館以外各100件) ②市内各大学の学生 2,000件</p> <p>【協力校】 共愛学園前橋国際大学、前橋工科大学、群馬大学、県民健康科学大学、群馬医療福祉大学、明和学園短期大学 合計 4,600件</p>
<b>アンケート回収数</b>	<p>【郵送調査】 172件 【集合調査】 公民館利用者 1,559件 大学生 1,582件 合計 3,313件</p>
<b>実施経過</b>	<p>【準備期間】平成29年3月～10月 ※アンケートの質問項目作成にあたり、大学生等の協力による意見交換会を実施(4回)</p> <p>【実施期間】平成29年11月</p> <p>【集計・分析期間】平成29年12月～平成30年3月</p>



選挙に関するアンケート

## 2 単純集計結果

単純集計とは、各質問の回答を選択肢ごとに集計し、分析したものです。

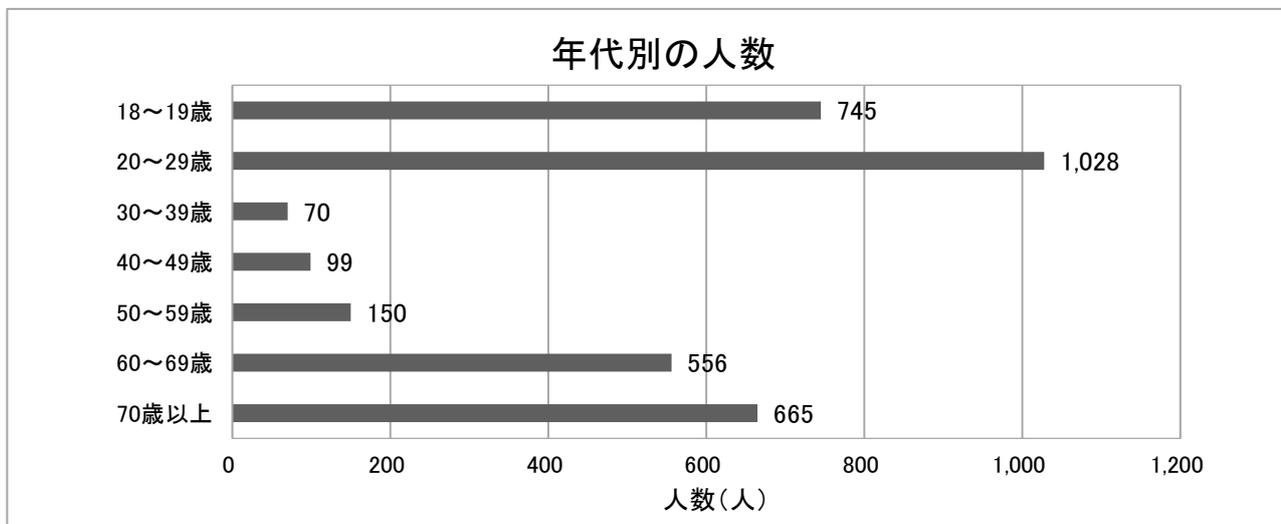


【年齢】あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。○をつけてください。

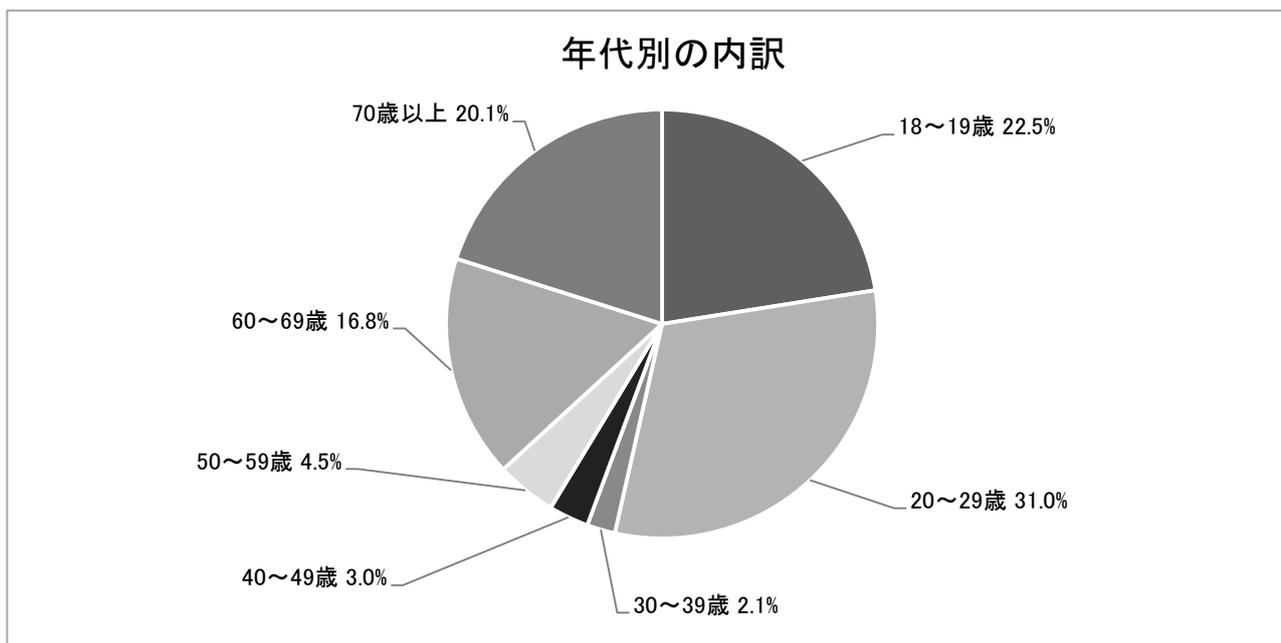
### 集計表

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
回答者数	745人	1,028人	70人	99人	150人	556人	665人	3,313人
年代別比率	22.5%	31.0%	2.1%	3.0%	4.5%	16.8%	20.1%	100.0%

### 年代ごとの人数



### 比率



### 分析

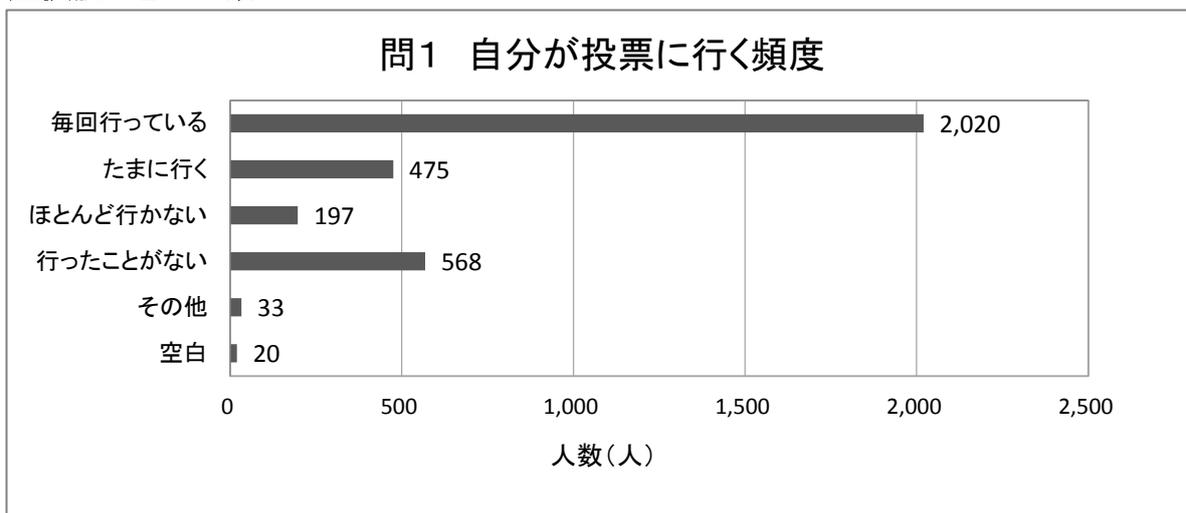
アンケート回答者の割合が最も多いのは20歳代の層で31.0%を占めている。10歳代の回答者も22.5%を占めており、10歳代と20歳代だけで過半数を占めている。最も少ないのは、30歳代である。

【問1】あなたは、投票に行っていますか。(○はひとつ)

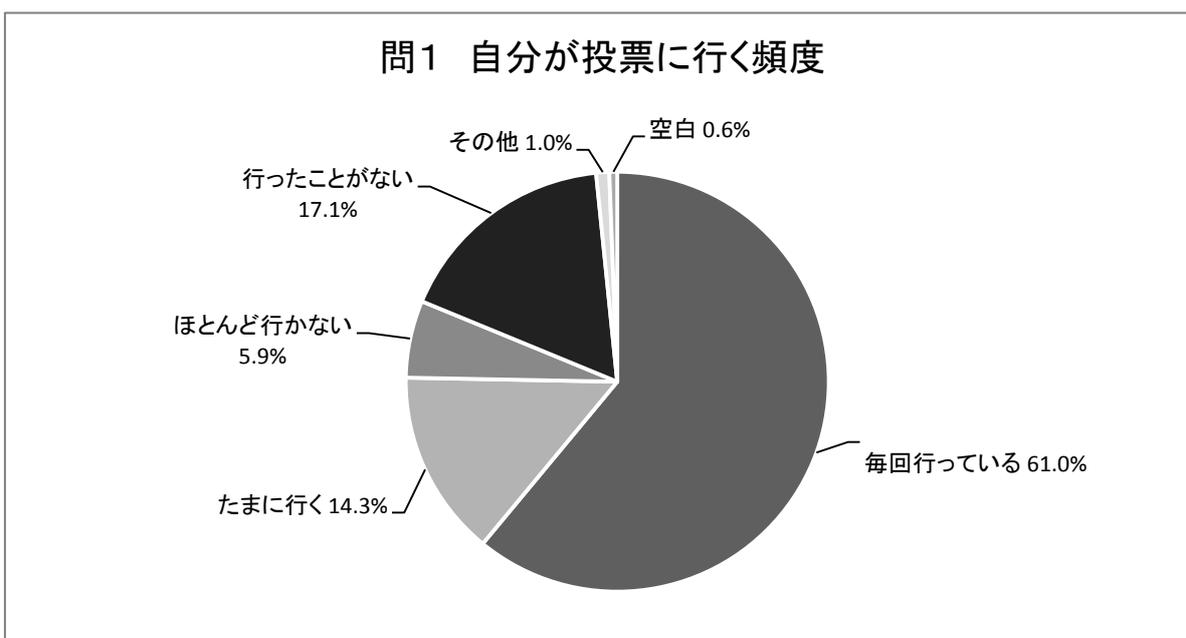
集計表

区分	選択者数	比率
毎回行っている	2,020人	61.0%
たまに行く	475人	14.3%
ほとんど行かない	197人	5.9%
行ったことがない	568人	17.1%
その他	33人	1.0%
空白	20人	0.6%
合計	3,313人	100.0%

選択肢ごとの人数



比率



分析

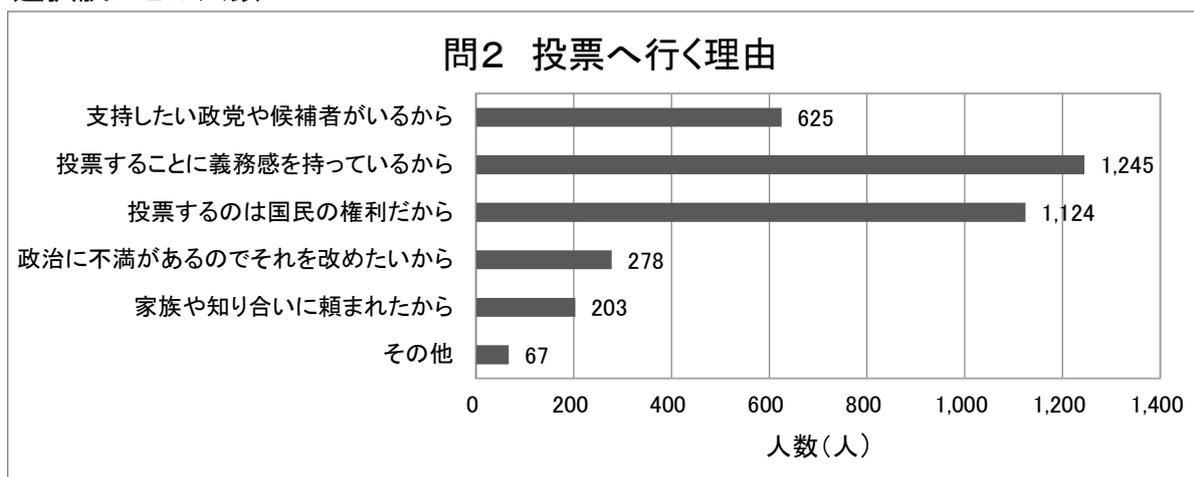
「毎回行っている」、「たまに行く」の『投票に行く人』の比率が、75%以上を占めている。「ほとんど行かない」、「行ったことがない」の『投票に行かない人』の比率は、23.0%を占めている。

【問2】問1で、「1 毎回行っている」「2 たまに行く」を選択した場合にお答え下さい、あなたが投票へ行く理由は何ですか。(複数回答可)

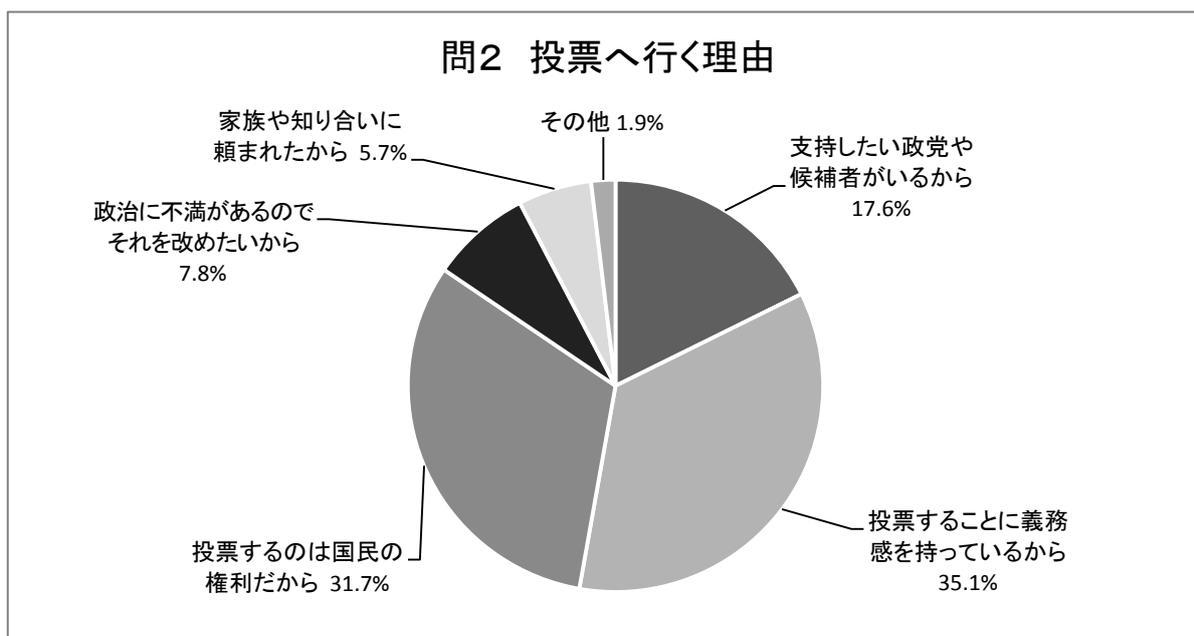
### 集計表

区分	選択者数	比率
支持したい政党や候補者がいるから	625人	17.6%
投票することに義務感を持っているから	1,245人	35.1%
投票するのは国民の権利だから	1,124人	31.7%
政治に不満があるのでそれを改めたいから	278人	7.8%
家族や知り合いに頼まれたから	203人	5.7%
その他	67人	1.9%
合計	3,542人	100.0%

### 選択肢ごとの人数



### 比率



### 分析

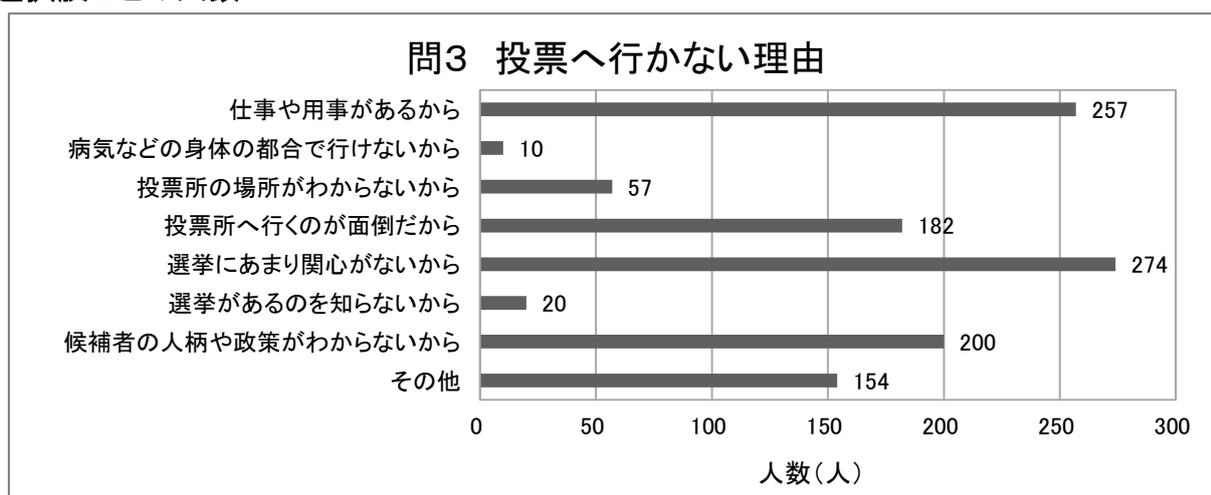
「投票することに義務感を持っているから」、「投票するのは国民の権利だから」といった、投票をしなければならないという自覚を持っている選択肢が全体の60%以上を占めている。

【問3】問1で「3ほとんど行かない」「4行ったことがない」を選択した場合にお答え下さい、あなたが投票へ行かない理由は何ですか。(複数回答可)

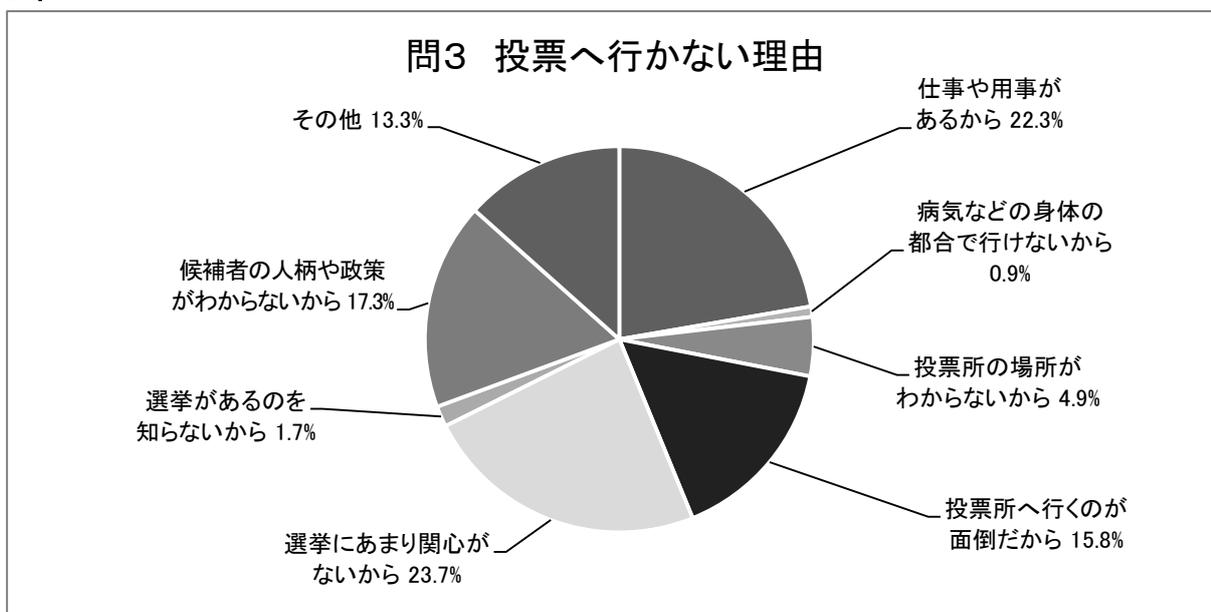
### 集計表

区分	選択者数	比率
仕事や用事があるから	257人	22.3%
病気などの身体の都合で行けないから	10人	0.9%
投票所の場所がわからないから	57人	4.9%
投票所へ行くのが面倒だから	182人	15.8%
選挙にあまり関心がないから	274人	23.7%
選挙があるのを知らないから	20人	1.7%
候補者の人柄や政策がわからないから	200人	17.3%
その他	154人	13.3%
合計	1,154人	100.0%

### 選択肢ごとの人数



### 比率



### 分析

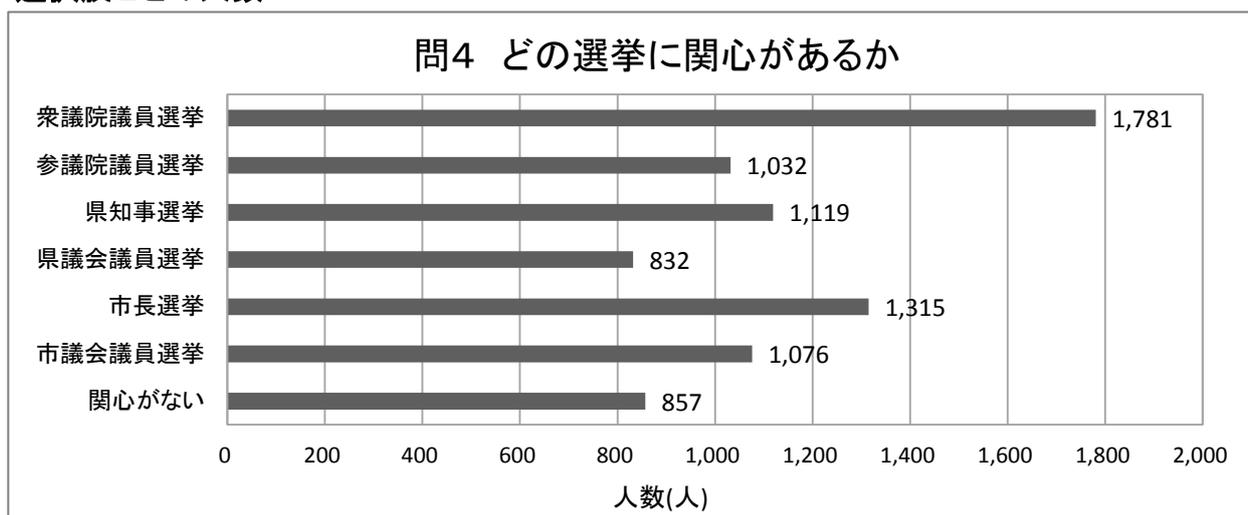
行かない理由としては、「関心がない」と回答した人が最も多い。「選挙があるのを知らない」と回答した人は少ないので、選挙が行われるということは認知されていることが分かる。

【問4】あなたは、どの選挙に関心がありますか。(複数回答可)

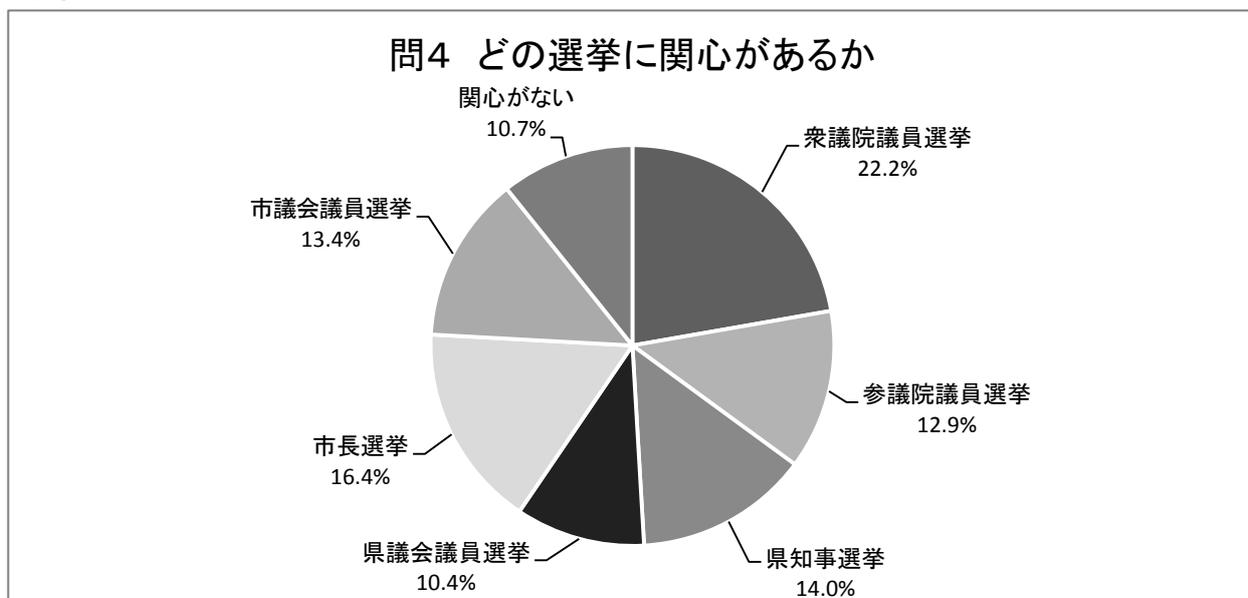
集計表

区分	選択者数	比率
衆議院議員選挙	1,781人	22.2%
参議院議員選挙	1,032人	12.9%
県知事選挙	1,119人	14.0%
県議会議員選挙	832人	10.4%
市長選挙	1,315人	16.4%
市議会議員選挙	1,076人	13.4%
関心がない	857人	10.7%
合計	8,012人	100.0%

選択肢ごとの人数



比率



分析

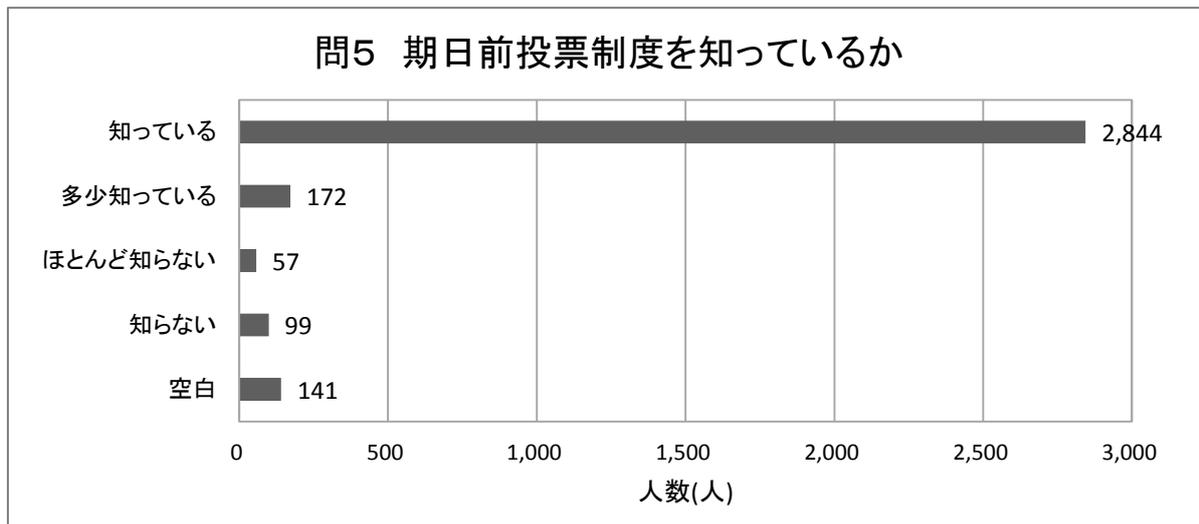
衆議院議員選挙への関心が一番高いことがわかる。次に関心が高いのは市長選挙であり、続いて県知事選挙、市議会議員選挙、参議院議員選挙、県議会議員選挙の順であった。

【問5】あなたは、投票日当日に投票へ行けない方のための「期日前投票制度」をご存知ですか。(○はひとつ)

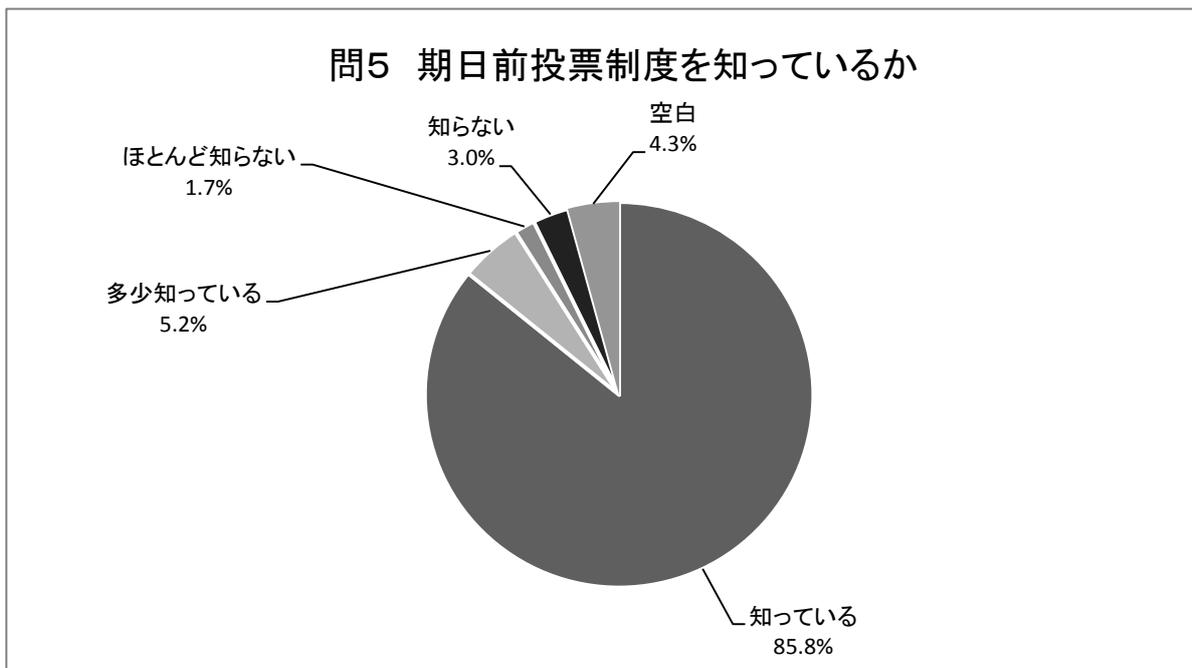
集計表

区分	選択者数	比率
知っている	2,844人	85.8%
多少知っている	172人	5.2%
ほとんど知らない	57人	1.7%
知らない	99人	3.0%
空白	141人	4.3%
合計	3,313人	100.0%

選択肢ごとの人数



比率



分析

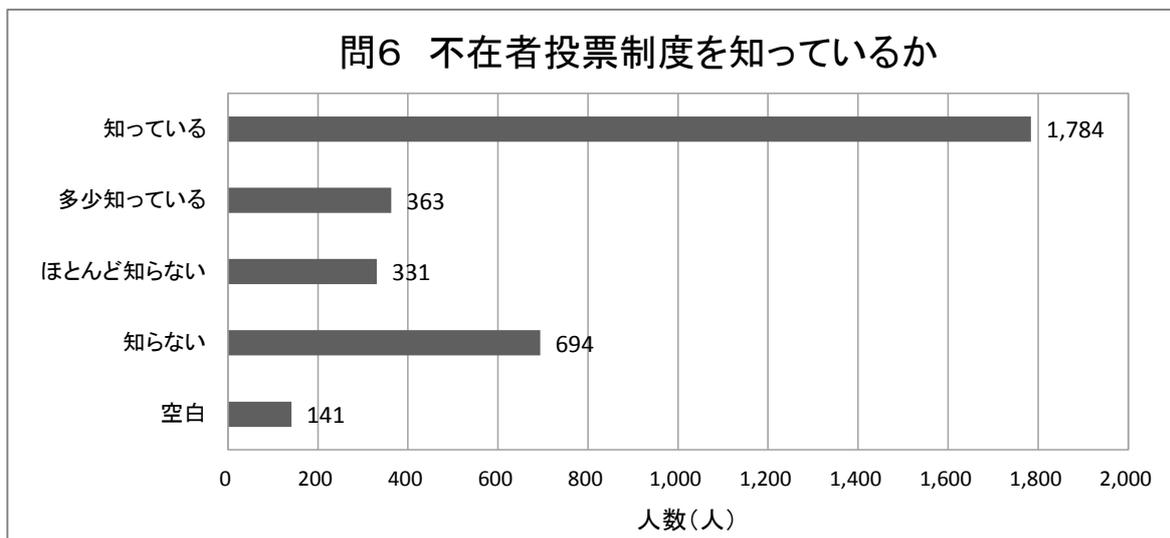
期日前投票制度を「知っている」、「多少知っている」と回答した人が90%以上を占め、ほとんど知っていることがわかる。

【問6】あなたは、出張で他市区町村に滞在している場合や、ケガや病気で病院に入院している場合でも投票ができる「不在者投票制度」をご存知ですか。(〇はひとつ)

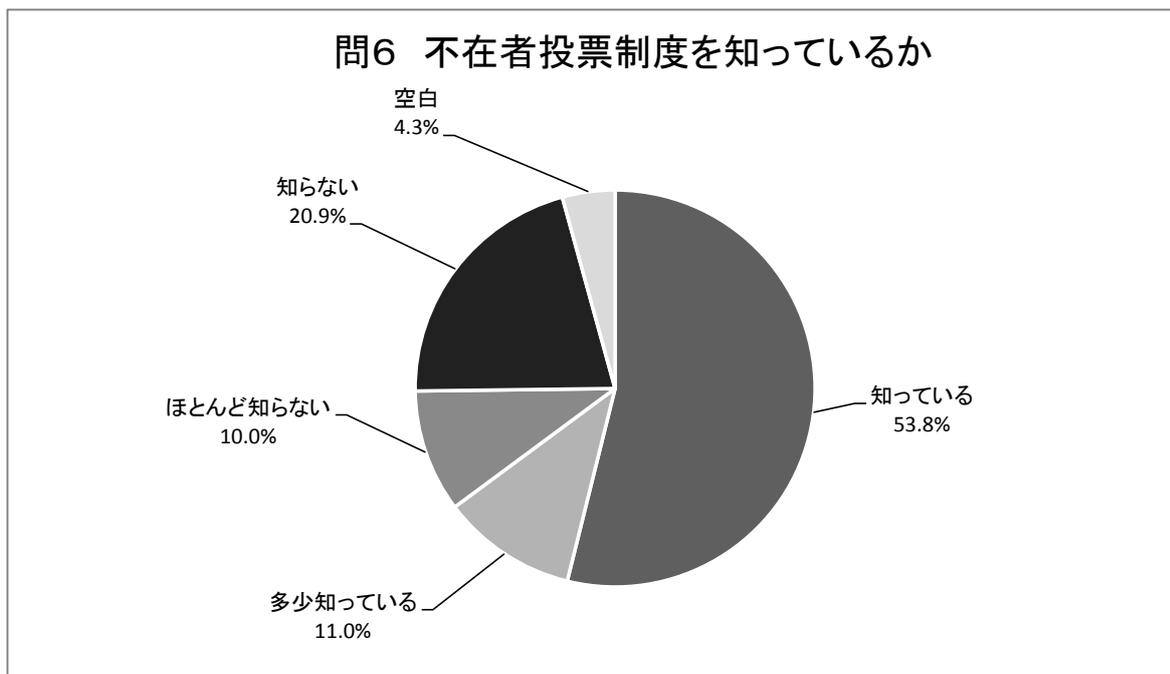
集計表

区分	選択者数	比率
知っている	1,784人	53.8%
多少知っている	363人	11.0%
ほとんど知らない	331人	10.0%
知らない	694人	20.9%
空白	141人	4.3%
合計	3,313人	100.0%

選択肢ごとの人数



比率



分析

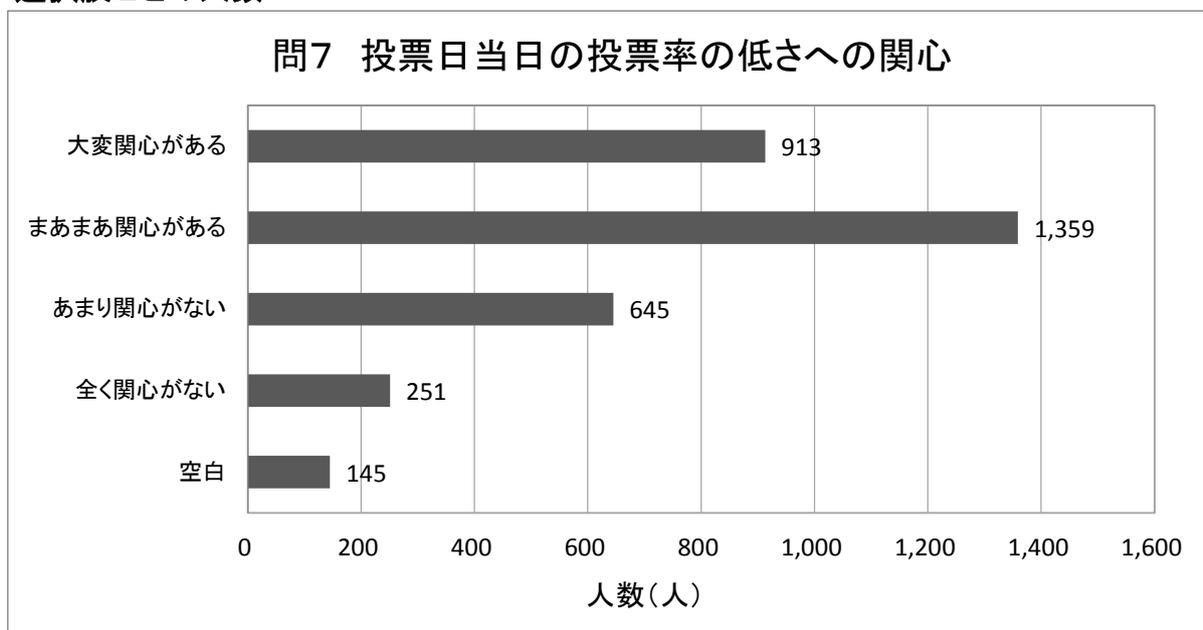
不在者投票制度について知っている人は半数以上だが、「知らない」、「ほとんど知らない」と回答した人が約30%であった。

【問7】 最近の選挙で課題となっている、投票日当日の投票率が低いことについてあなたは関心がありますか。(〇はひとつ)

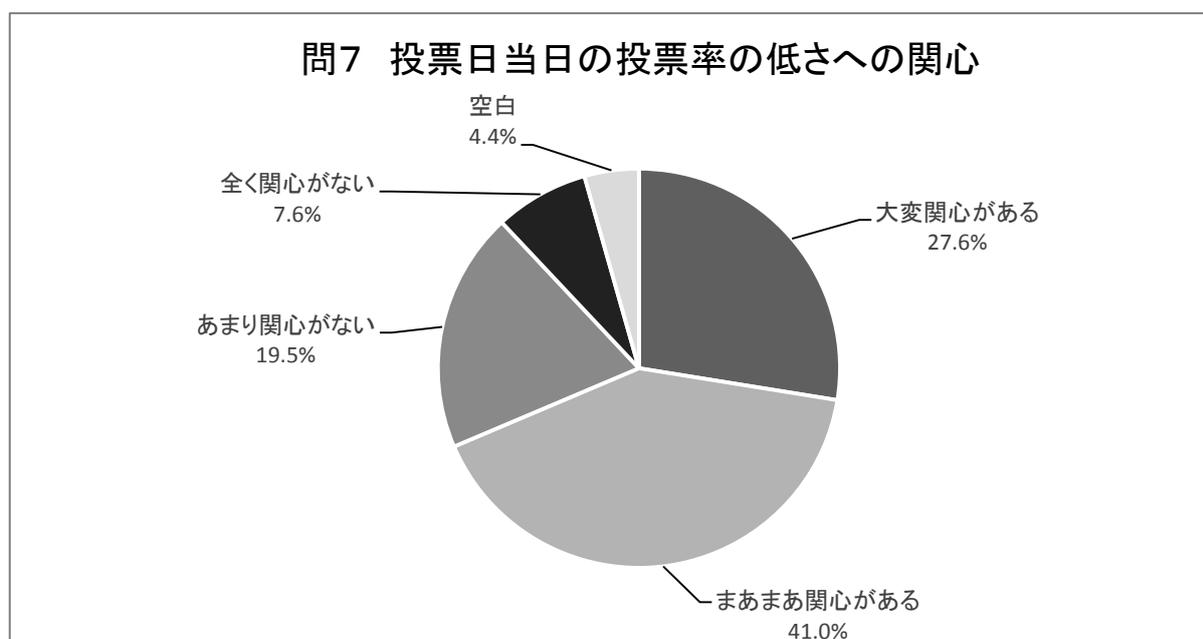
集計表

区分	選択者数	比率
大変関心がある	913人	27.6%
まあまあ関心がある	1,359人	41.0%
あまり関心がない	645人	19.5%
全く関心がない	251人	7.6%
空白	145人	4.4%
合計	3,313人	100.0%

選択肢ごとの人数



比率



分析

約70%の人が投票日当日の投票率の低さに関心を持っている。全く関心のない人は10%にも満たない。

【問8】選挙への関心を高め投票率の向上を図るためには、どうすればよいと思いますか。  
 ( )内のどちらかに○を付けてください。

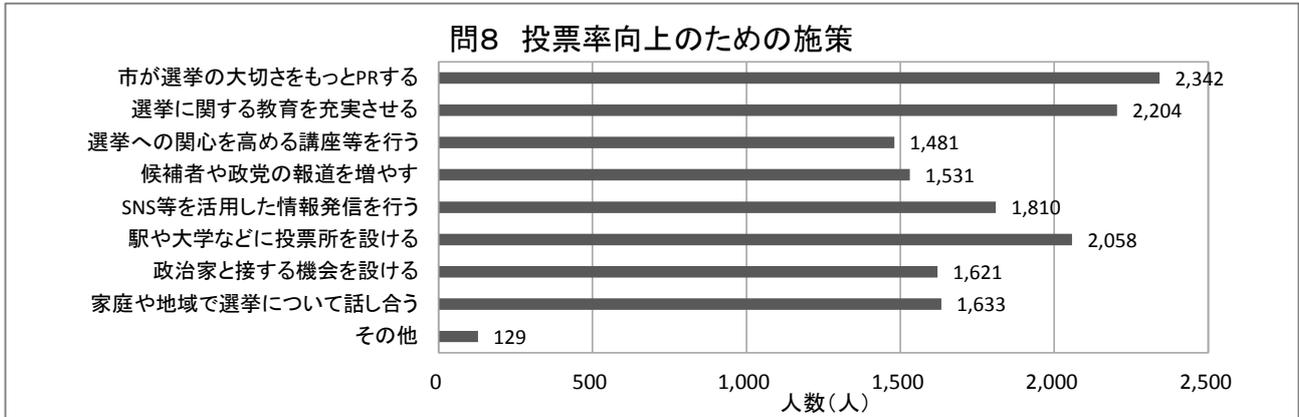
※1

※1:( )の内容は、「そう思う」、「そう思わない」の二択

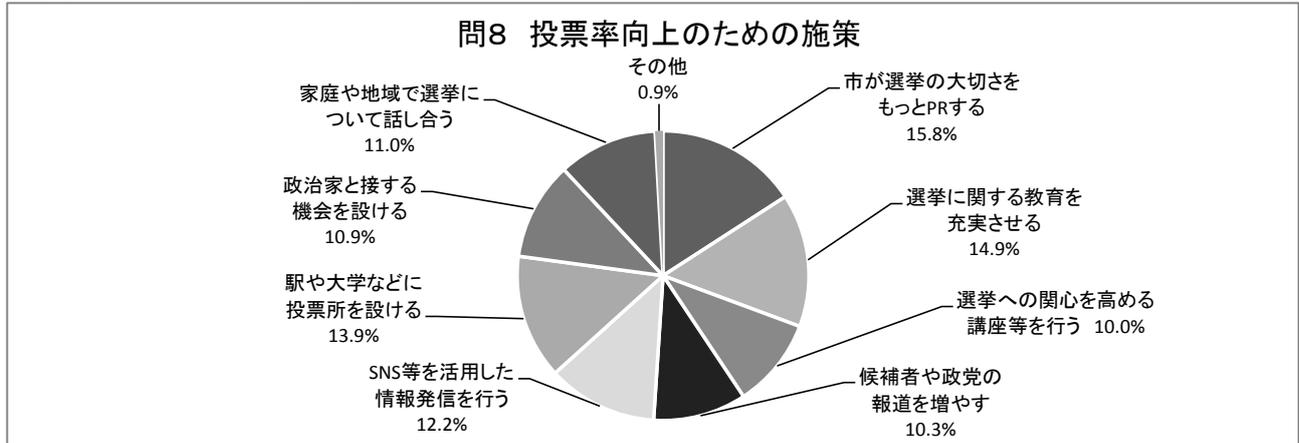
集計表

区分	そう思う(A)		そう思わない(B)		AとBの比率		選択者数 合計
	選択者数	比率	選択者数	比率	そう思う人の比率	そう思わない人の比率	
市が選挙の大切さをもっとPRする	2,342人	15.8%	535人	7.1%	81.4%	18.6%	2,877人
選挙に関する教育を充実させる	2,204人	14.9%	643人	8.6%	77.4%	22.6%	2,847人
選挙への関心を高める講座等を行う	1,481人	10.0%	1,267人	16.9%	53.9%	46.1%	2,748人
候補者や政党の報道を増やす	1,531人	10.3%	1,221人	16.2%	55.6%	44.4%	2,752人
SNS等を活用した情報発信を行う	1,810人	12.2%	908人	12.1%	66.6%	33.4%	2,718人
駅や大学などに投票所を設ける	2,058人	13.9%	720人	9.6%	74.1%	25.9%	2,778人
政治家と接する機会を設ける	1,621人	10.9%	1,136人	15.1%	58.8%	41.2%	2,757人
家庭や地域で選挙について話し合う	1,633人	11.0%	1,088人	14.5%	60.0%	40.0%	2,721人
その他	129人	0.9%	0人	0.0%			129人
合計	14,809人	100.0%	7,518人	100.0%			

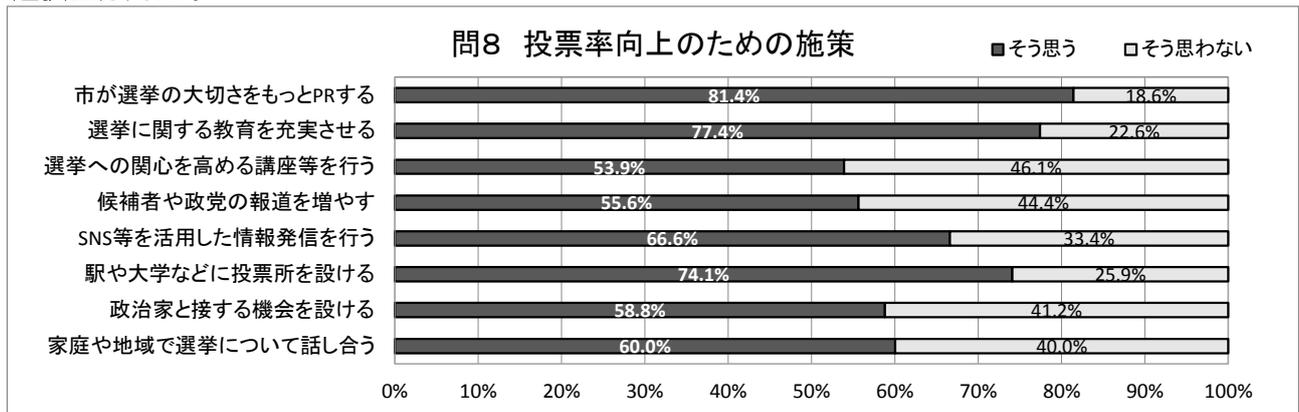
選択肢別人数(「そう思う」選択者数)



選択肢別比率(「そう思う」選択者比率)



選択区分別比率



分析

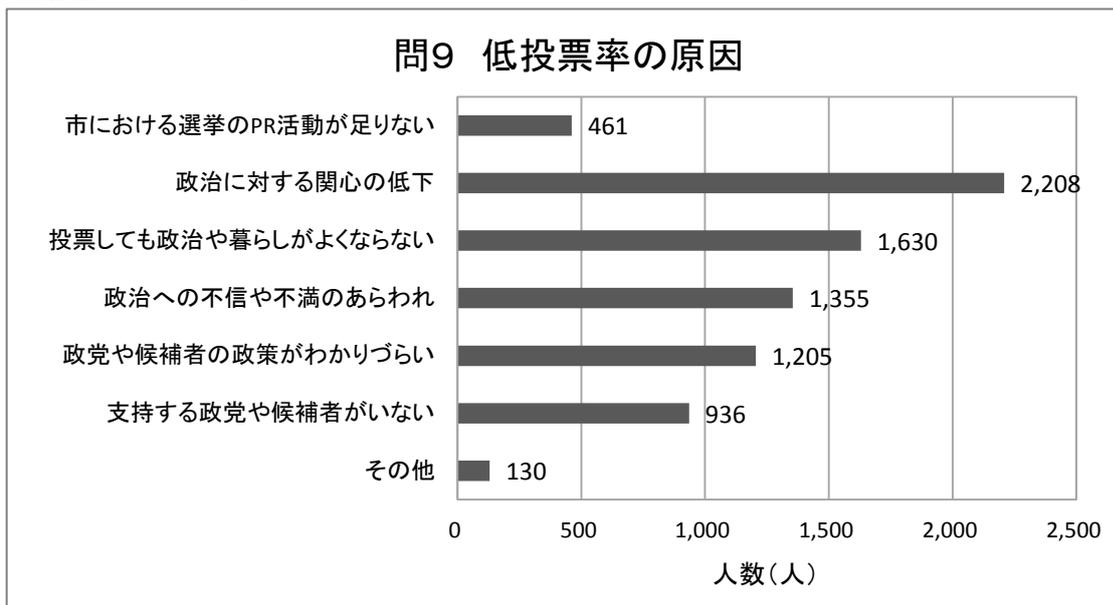
投票率を向上させるのに有効だと考えられているのは、「市が選挙の大切さをPRする」、「選挙教育」、「投票所を駅や大学に」が多かった。

【問9】 選挙での投票率が低いことについて、その原因として考えられるのは何だと思えますか。(複数回答可)

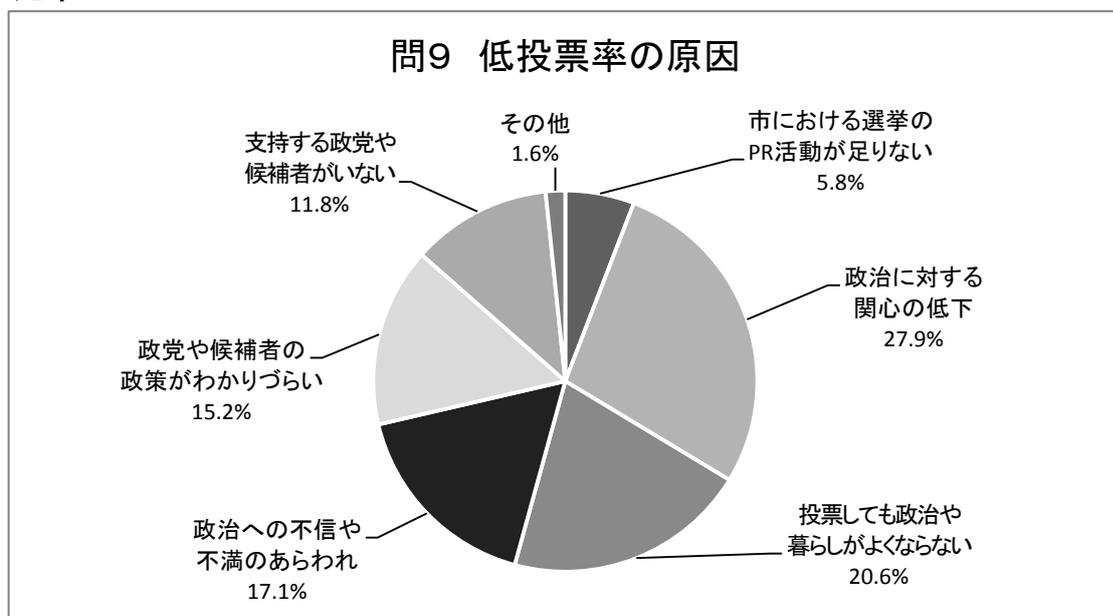
集計表

区分	選択者数	比率
市における選挙のPR活動が足りない	461人	5.8%
政治に対する関心の低下	2,208人	27.9%
投票しても政治や暮らしがよくなるらない	1,630人	20.6%
政治への不信や不満のあらわれ	1,355人	17.1%
政党や候補者の政策がわかりづらい	1,205人	15.2%
支持する政党や候補者がいない	936人	11.8%
その他	130人	1.6%
合計	7,925人	100.0%

選択肢ごとの人数



比率



分析

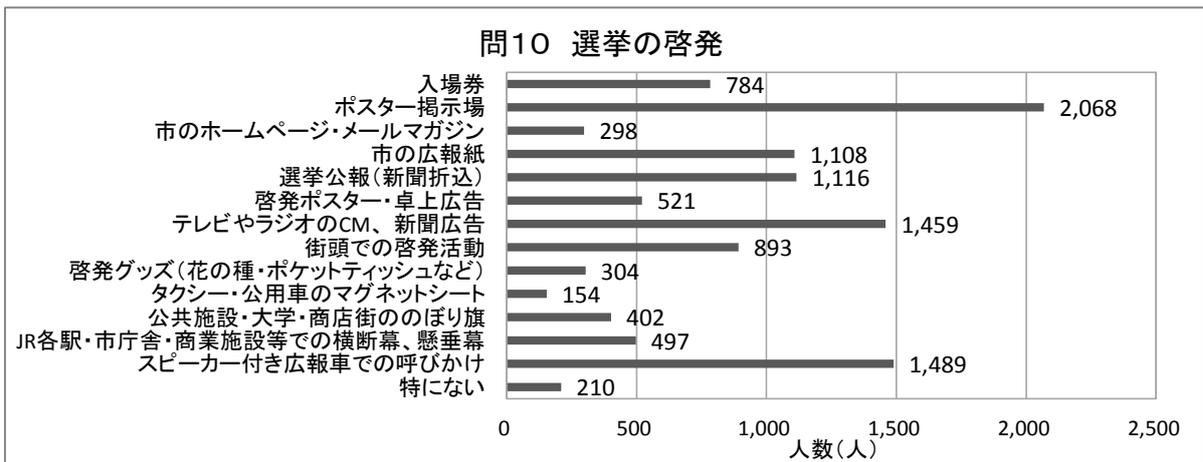
最も多かったのは「政治に対する関心の低下」、次に「投票しても政治や暮らしがよくなるらない」であった。続いて「政治への不信や不満のあらわれ」、「政党や候補者の政策がわかりづらい」であった。

【問10】選挙管理委員会では、さまざまな方法で選挙の啓発を行っています。あなたが見たり聞いたりしたものはありますか。(複数回答可)

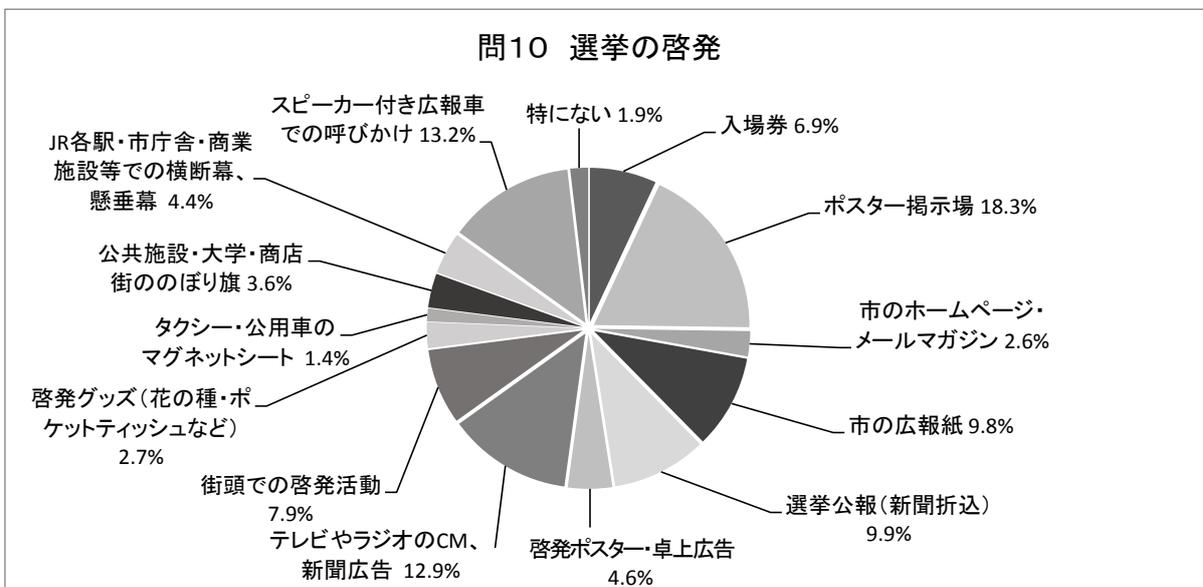
集計表

区分	選択者数	比率
入場券	784人	6.9%
ポスター掲示場	2,068人	18.3%
市のホームページ・メールマガジン	298人	2.6%
市の広報紙	1,108人	9.8%
選挙公報(新聞折込)	1,116人	9.9%
啓発ポスター・卓上広告	521人	4.6%
テレビやラジオのCM、新聞広告	1,459人	12.9%
街頭での啓発活動	893人	7.9%
啓発グッズ(花の種・ポケットティッシュなど)	304人	2.7%
タクシー・公用車のマグネットシート	154人	1.4%
公共施設・大学・商店街ののぼり旗	402人	3.6%
JR各駅・市庁舎・商業施設等での横断幕、懸垂幕	497人	4.4%
スピーカー付き広報車での呼びかけ	1,489人	13.2%
特にない	210人	1.9%
合計	11,303人	100.0%

選択肢ごとの人数



比率



分析

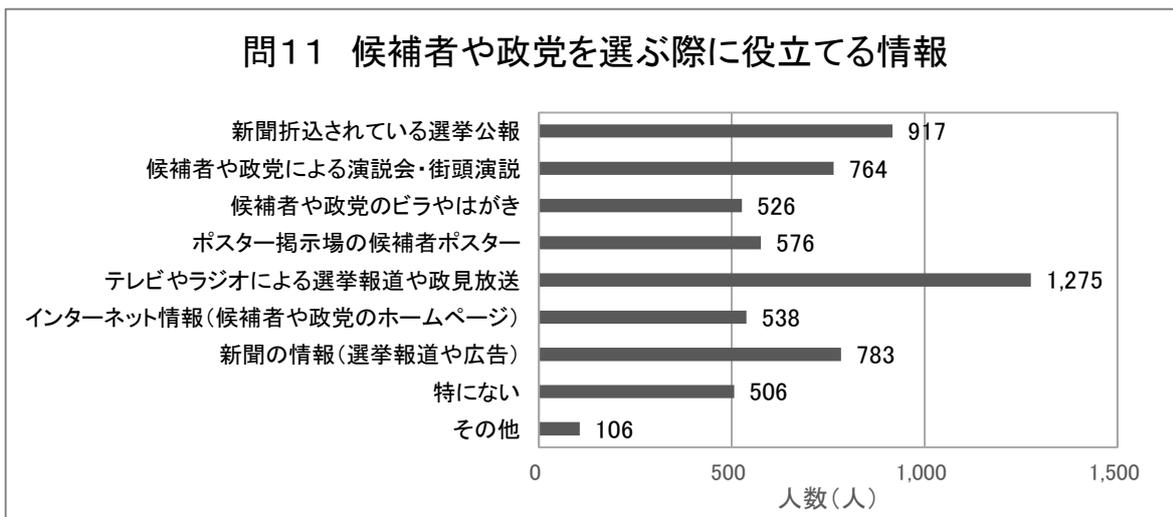
最も認知されているのは「ポスター掲示場」、続いて「スピーカー付き広報車での呼びかけ」、  
「テレビやラジオのCM、新聞広告」の順であった。  
一番認知されていなかったのは、タクシーや公用車に貼ってあるマグネットシートであった。

【問11】あなたが、候補者や政党を選ぶ際に役立てる情報としては、何を見て判断していますか。(複数回答可)

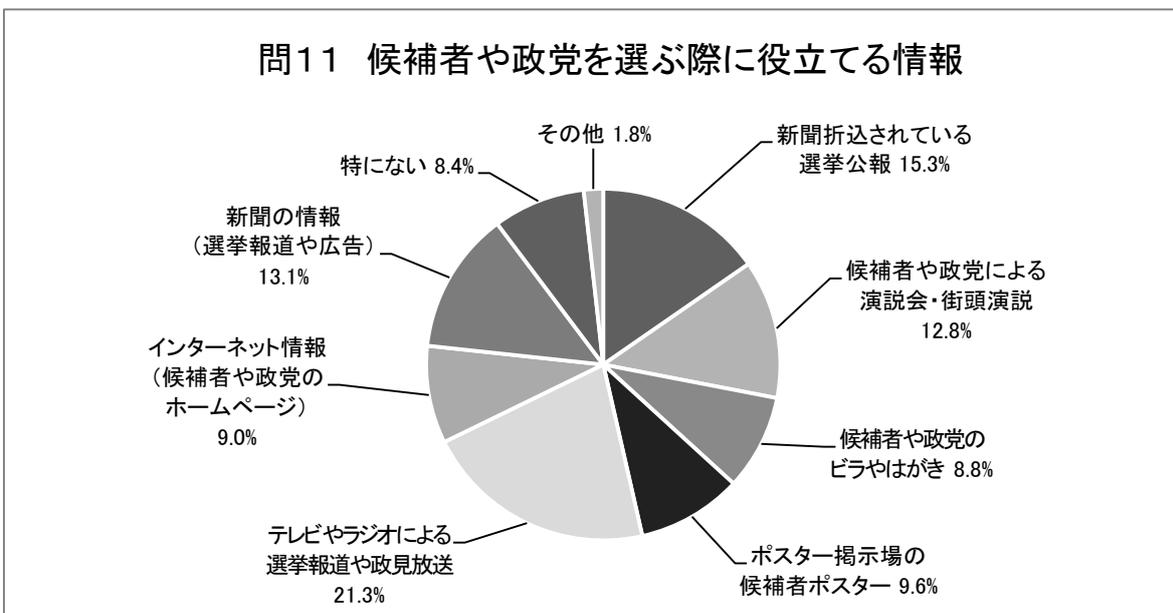
集計表

区分	選択者数	比率
新聞折込されている選挙公報	917人	15.3%
候補者や政党による演説会・街頭演説	764人	12.8%
候補者や政党のビラやはがき	526人	8.8%
ポスター掲示場の候補者ポスター	576人	9.6%
テレビやラジオによる選挙報道や政見放送	1,275人	21.3%
インターネット情報(候補者や政党のホームページ)	538人	9.0%
新聞の情報(選挙報道や広告)	783人	13.1%
特にない	506人	8.4%
その他	106人	1.8%
合計	5,991人	100.0%

選択肢ごとの人数



比率



分析

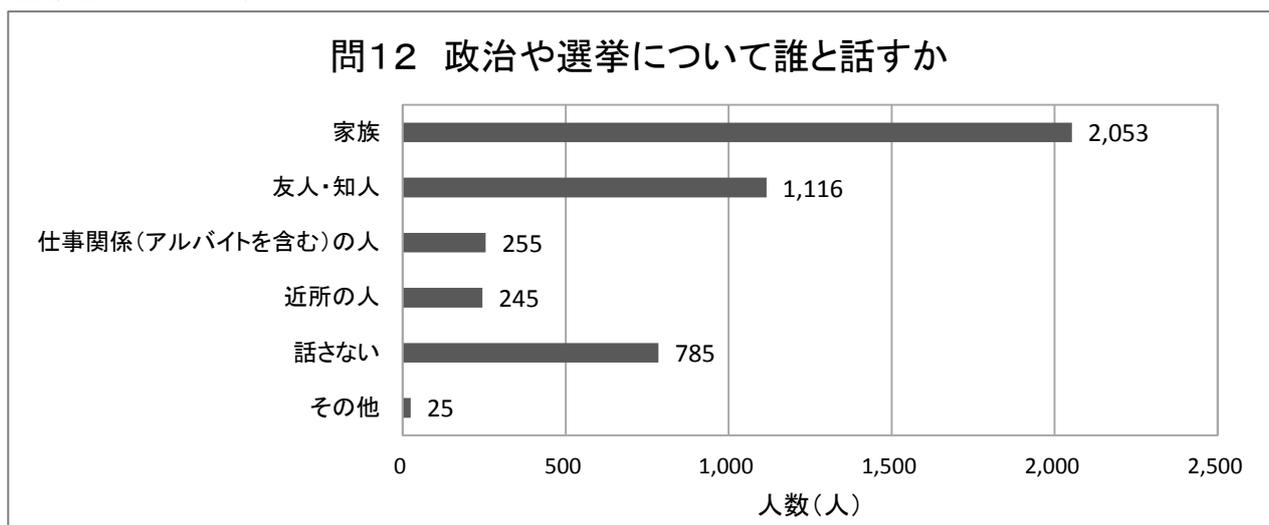
最も多かったのは「テレビやラジオによる選挙報道や政見放送」、次に「新聞折込されている選挙公報」、続いて「新聞の情報(選挙報道や広告)」、「候補者や政党による演説会・街頭演説」であった。

【問12】 あなたは、政治や選挙について、次の方々と話をすることはありますか。(複数回答可)

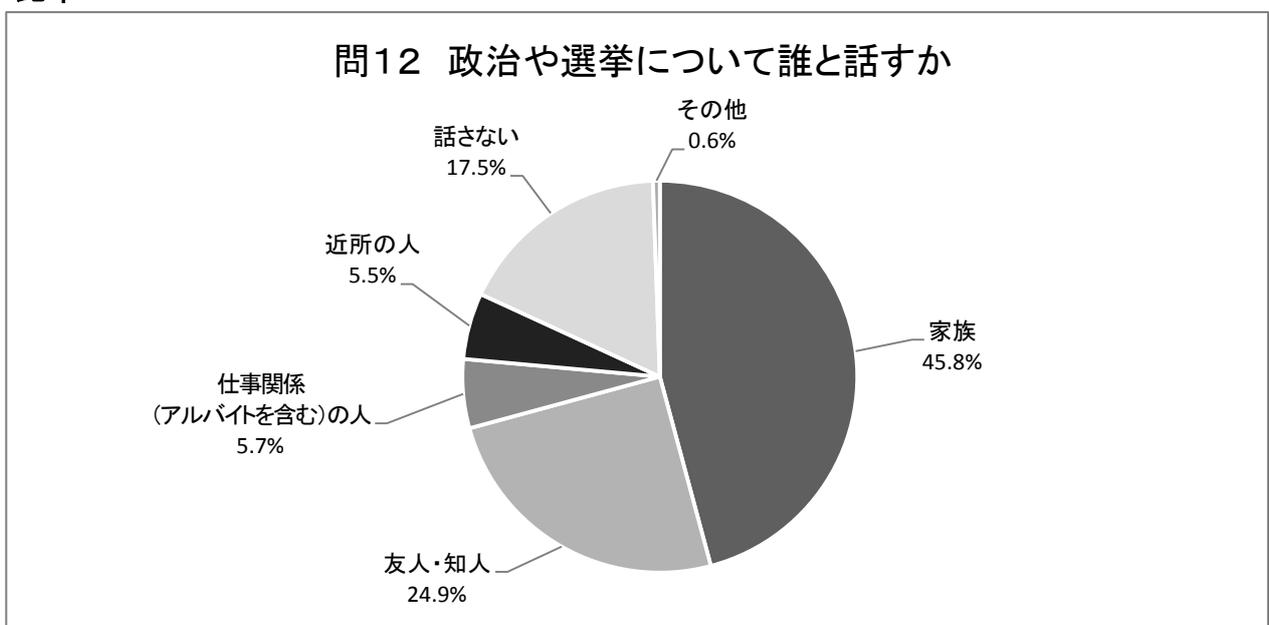
集計表

区分	選択者数	比率
家族	2,053人	45.8%
友人・知人	1,116人	24.9%
仕事関係(アルバイトを含む)の人	255人	5.7%
近所の人	245人	5.5%
話さない	785人	17.5%
その他	25人	0.6%
合計	4,479人	100.0%

選択肢ごとの人数



比率



分析

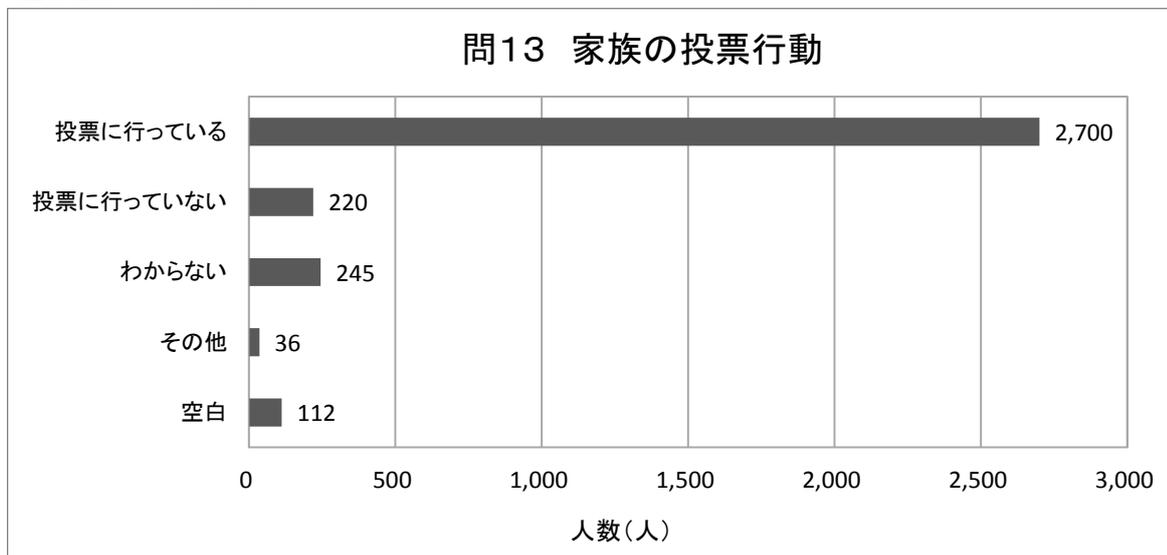
家族と話す人が半数近くを占めている。友人や知人に話す人も約25%いる。身近な人に話すことが多いようだが、一方で「話さない」という人も17.5%いる。

【問13】あなたのご家族は投票に行っていますか。(〇はひとつ)

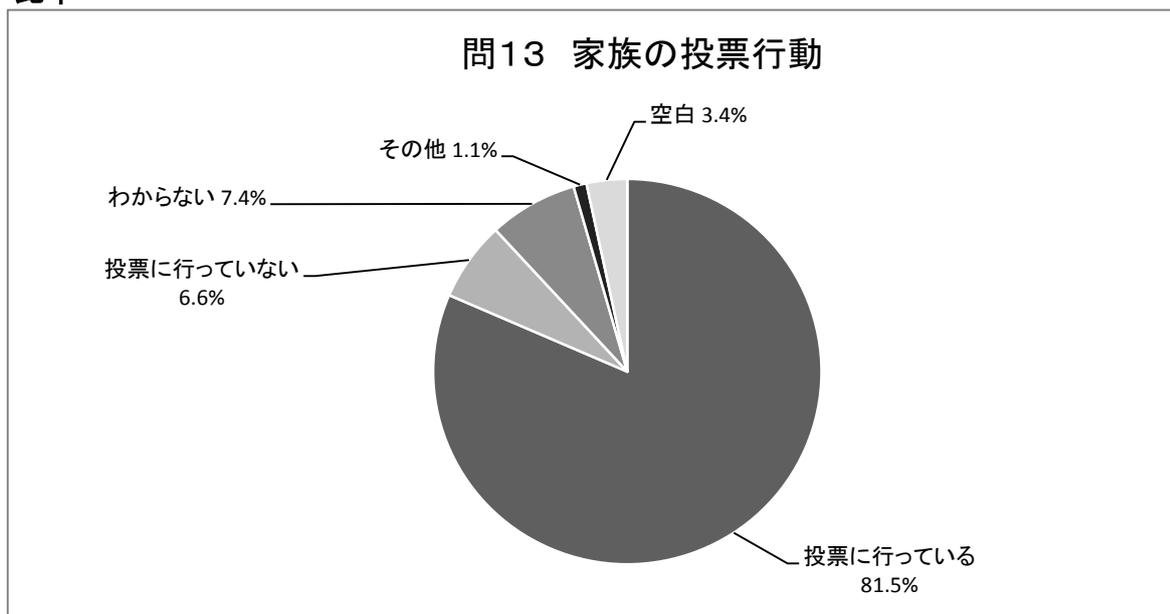
集計表

区分	選択者数	比率
投票に行っている	2,700人	81.5%
投票に行っていない	220人	6.6%
わからない	245人	7.4%
その他	36人	1.1%
空白	112人	3.4%
合計	3,313人	100.0%

選択肢ごとの人数



比率



分析

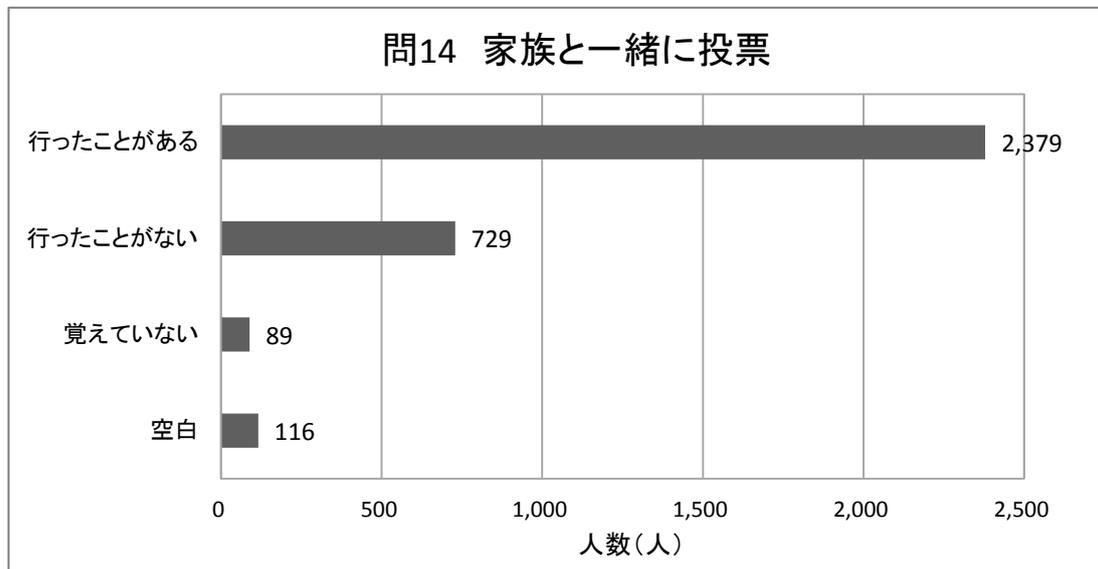
「投票に行っている」が80%以上と、家族が投票に行く割合が高いことがわかる。「投票に行っていない」と回答した比率は低い。

【問14】あなたは、ご家族と一緒に投票へ行っただことがありますか。(〇はひとつ)

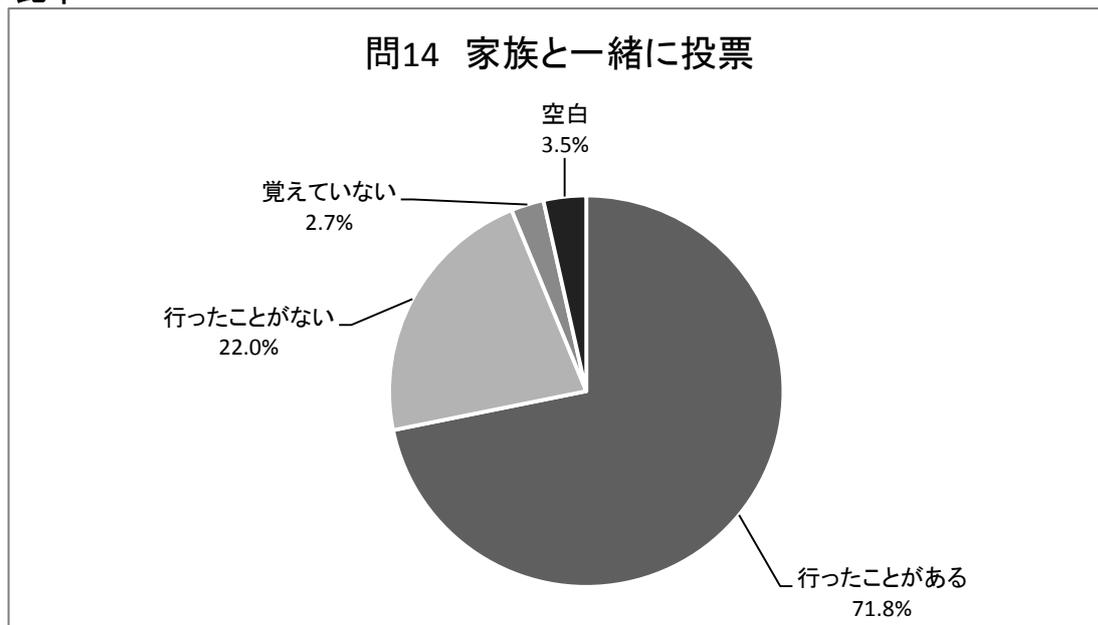
集計表

区分	選択者数	比率
行ったことがある	2,379人	71.8%
行ったことがない	729人	22.0%
覚えていない	89人	2.7%
空白	116人	3.5%
合計	3,313人	100.0%

選択肢ごとの人数



比率



分析

70%以上の方が家族と一緒に投票に行ったことがあるが、22.0%の方は家族と一緒に行ったことがなかった。



## 選挙に関するアンケート

### 3 クロス集計結果

クロス集計とは、投票に行く頻度を世代ごとに集計したり、複数の項目を掛け合わせて集計する方法です。  
ここでは、各質問の回答を年代ごとに分けるクロス集計を行い、年代による意識の傾向を分析しました。



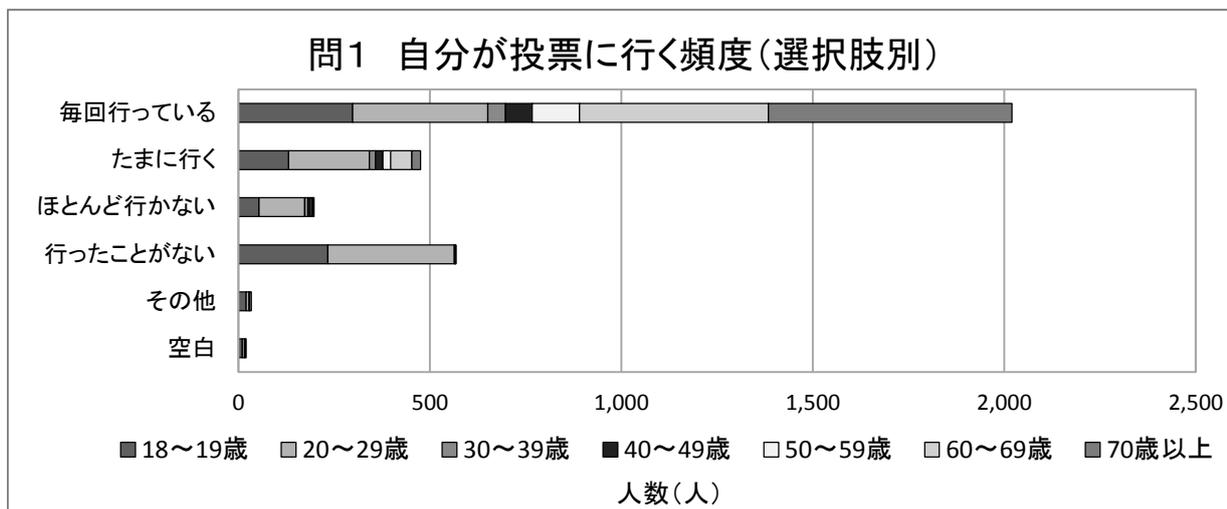
【問1】あなたは、投票に行っていますか。(〇はひとつ)

集計表

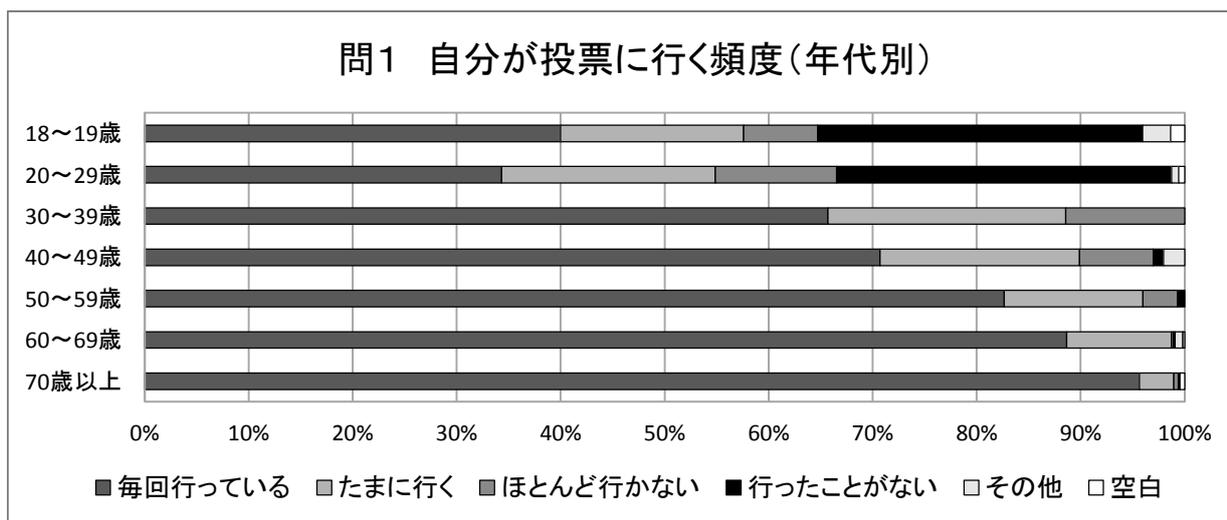
単位:人

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
毎回行っている	298	353	46	70	124	493	636	2,020
たまに行く	131	211	16	19	20	56	22	475
ほとんど行かない	53	120	8	7	5	1	3	197
行ったことがない	233	331	0	1	1	1	1	568
その他	20	7	0	2	0	4		33
空白	10	6	0	0	0	1	3	20
合計	745	1,028	70	99	150	556	665	3,313

選択肢ごとの人数



比率



分析

年代が高くなればなるほど「投票に行く」割合が高い。10歳代及び20歳代の「行ったことがない」の比率は、30歳代以上に比べて非常に高い。

【問2】問1で、「1 毎回行っている」「2 たまに行く」を選択した場合にお答え下さい、あなたが投票へ行く理由は何ですか。(複数回答可)

集計表

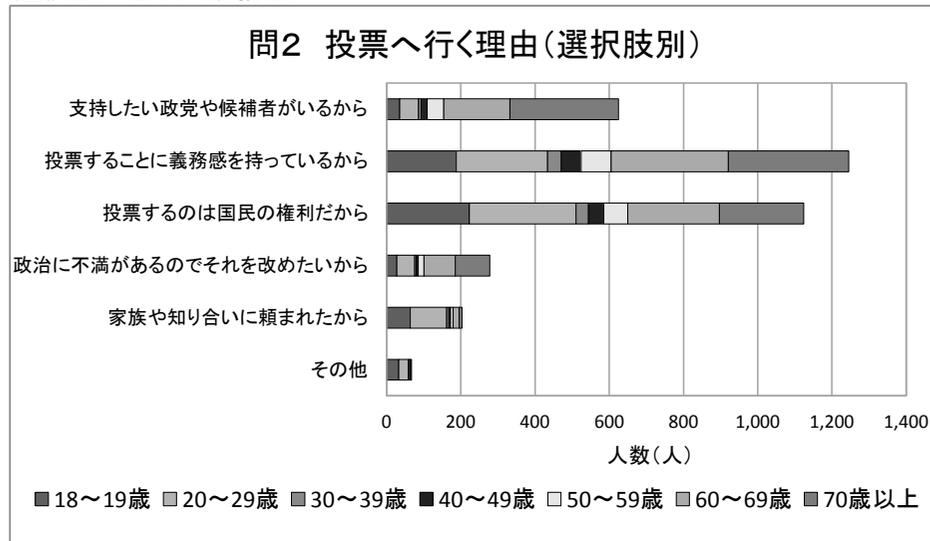
単位:人

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
支持したい政党や候補者がいるから	35	51	7	16	45	178	293	625
投票することに義務感を持っているから	188	246	37	53	81	316	324	1,245
投票するのは国民の権利だから	223	287	34	41	65	247	227	1,124
政治に不満があるのでそれを改めたいから	28	48	4	5	16	84	93	278
家族や知り合いに頼まれたから	64	98	6	4	7	16	8	203
その他	33	26	0	0	1	4	3	67
合計	571	756	88	119	215	845	948	3,542

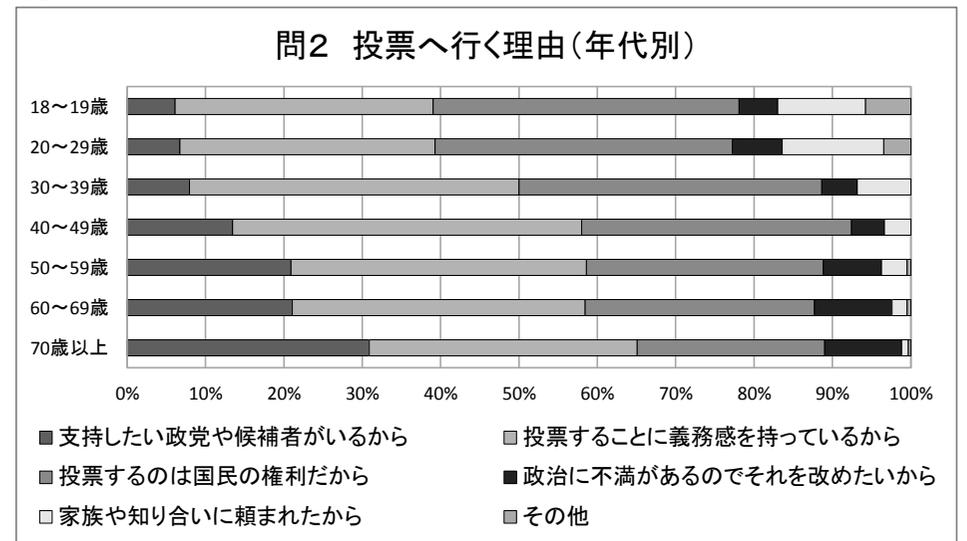
選択肢ごとの比率

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
支持したい政党や候補者がいるから	6.1%	6.7%	8.0%	13.4%	20.9%	21.1%	30.9%	17.6%
投票することに義務感を持っているから	32.9%	32.5%	42.0%	44.5%	37.7%	37.4%	34.2%	35.1%
投票するのは国民の権利だから	39.1%	38.0%	38.6%	34.5%	30.2%	29.2%	23.9%	31.7%
政治に不満があるのでそれを改めたいから	4.9%	6.3%	4.5%	4.2%	7.4%	9.9%	9.8%	7.8%
家族や知り合いに頼まれたから	11.2%	13.0%	6.8%	3.4%	3.3%	1.9%	0.8%	5.7%
その他	5.8%	3.4%	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%	0.3%	1.9%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

選択肢ごとの人数構成



比率



分析

年代にかかわらず、投票の権利や義務感から投票に行く比率が高い。ただし、30歳代～60歳代では権利よりも義務であると捉えている比率が高く、10歳代及び20歳代では義務よりも権利であると捉えている比率が高い。

年代が高くなるほど「政治への不満があるので改めたい」、「支持したい政党や候補者がいる」と答える割合が高い。

10歳代及び20歳代では「家族や知り合いに頼まれたから」を選ぶ割合が他の年代に比べて高い。

【問3】問1で「3 ほとんど行かない」「4 行ったことがない」を選択した場合にお答え下さい。あなたが投票へ行かない理由は何ですか。(複数回答可)

集計表

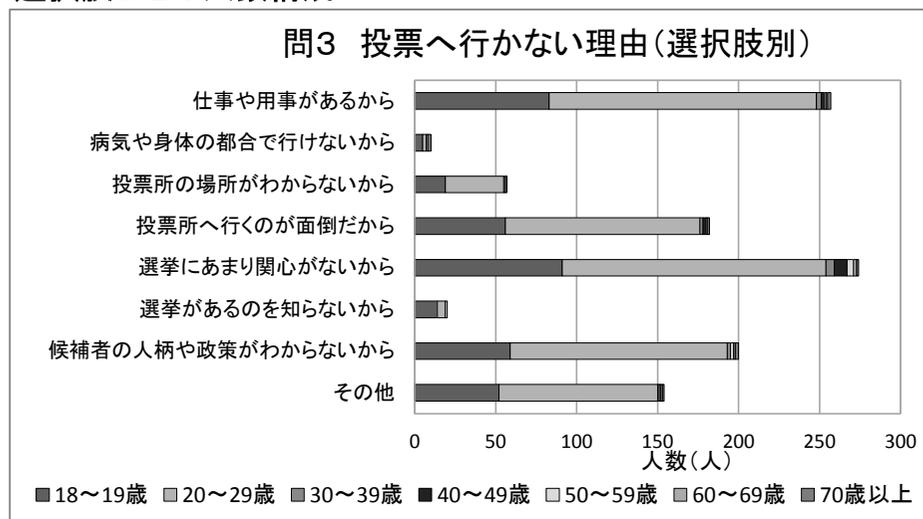
単位:人

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
仕事や用事があるから	83	165	3	2	1	1	2	257
病気や身体の都合で行けないから	5	2	0	0	1	0	2	10
投票所の場所がわからないから	19	36	0	0	1	0	1	57
投票所へ行くのが面倒だから	56	120	2	2	1	1	0	182
選挙にあまり関心がないから	91	163	5	8	4	2	1	274
選挙があるの知らないから	14	5	0	0	1	0	0	20
候補者の人柄や政策がわからないから	59	134	2	0	2	1	2	200
その他	52	98	1	0	1	1	1	154
合計	379	723	13	12	12	6	9	1,154

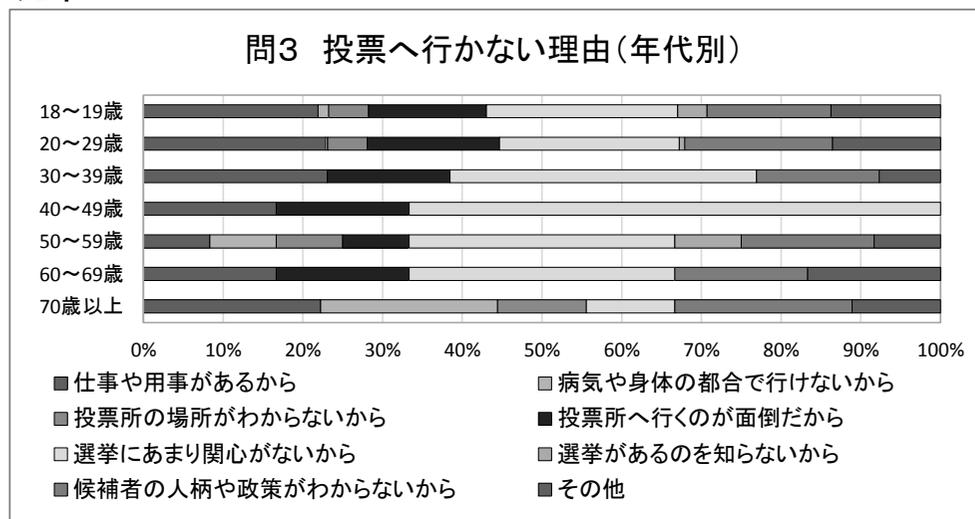
選択肢ごとの比率

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
仕事や用事があるから	21.9%	22.8%	23.1%	16.7%	8.3%	16.7%	22.2%	22.3%
病気や身体の都合で行けないから	1.3%	0.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	22.2%	0.9%
投票所の場所がわからないから	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	11.1%	4.9%
投票所へ行くのが面倒だから	14.8%	16.6%	15.4%	16.7%	8.3%	16.7%	0.0%	15.8%
選挙にあまり関心がないから	24.0%	22.5%	38.5%	66.7%	33.3%	33.3%	11.1%	23.7%
選挙があるの知らないから	3.7%	0.7%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	1.7%
候補者の人柄や政策がわからないから	15.6%	18.5%	15.4%	0.0%	16.7%	16.7%	22.2%	17.3%
その他	13.7%	13.6%	7.7%	0.0%	8.3%	16.7%	11.1%	13.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

選択肢ごとの人数構成



比率



分析

10歳代～60歳代では「選挙にあまり関心がないから」と回答した比率が高い。「仕事や用事があるから」と回答した比率は10歳代～30歳代と70歳代以上で高い。  
また、70歳代以上では、「病気や身体の都合で行けないから」、「候補者の人柄や政策がわからないから」と回答した比率も高い。

## 【問4】あなたは、どの選挙に関心がありますか。(複数回答可)

### 集計表

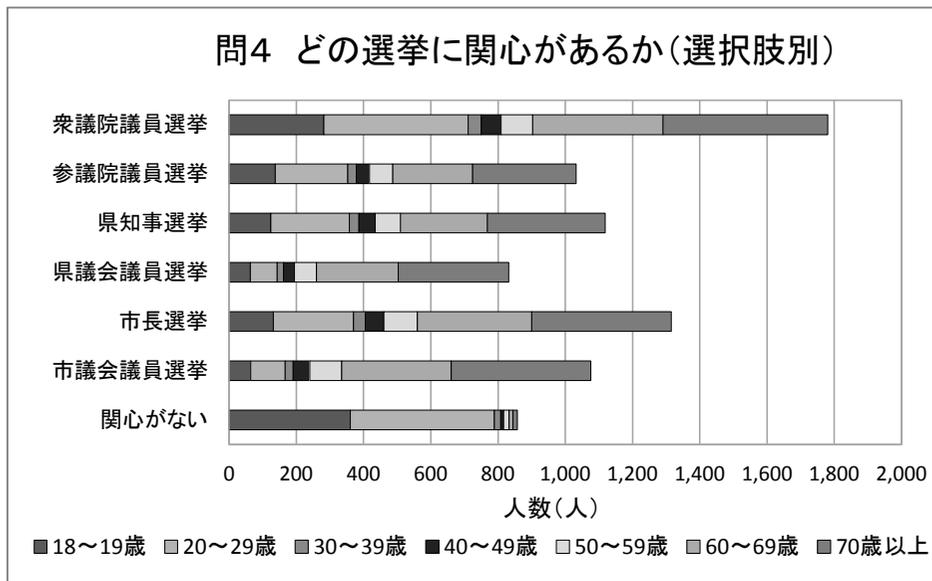
単位：人

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
衆議院議員選挙	282	429	39	59	94	388	490	1,781
参議院議員選挙	137	216	26	39	69	237	308	1,032
県知事選挙	124	234	28	49	75	258	351	1,119
県議会議員選挙	63	80	19	32	66	243	329	832
市長選挙	132	238	35	55	100	340	415	1,315
市議会議員選挙	64	103	24	49	95	326	415	1,076
関心がない	361	428	19	9	16	11	13	857
合計	1,163	1,728	190	292	515	1,803	2,321	8,012

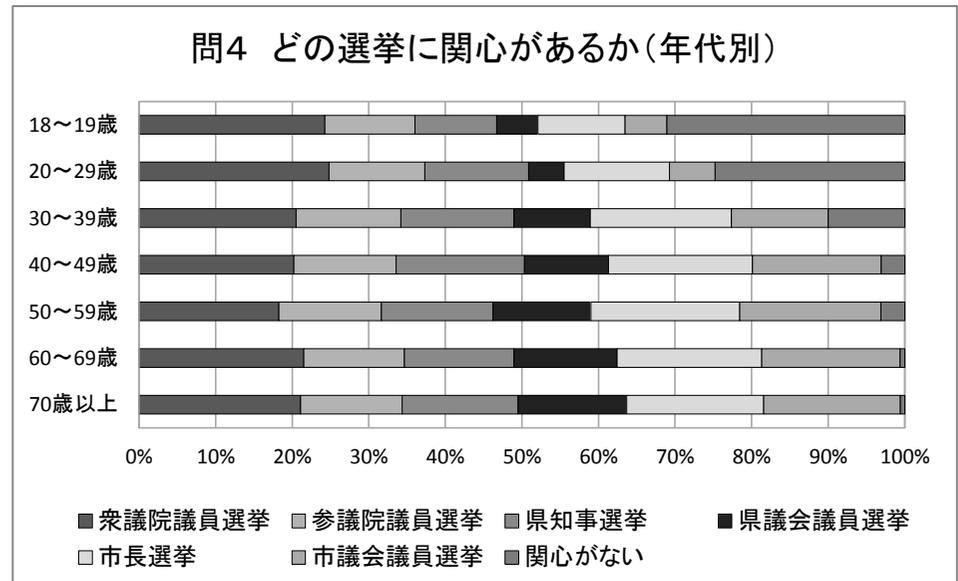
### 選択肢ごとの比率

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
衆議院議員選挙	24.2%	24.8%	20.5%	20.2%	18.3%	21.5%	21.1%	22.2%
参議院議員選挙	11.8%	12.5%	13.7%	13.4%	13.4%	13.1%	13.3%	12.9%
県知事選挙	10.7%	13.5%	14.7%	16.8%	14.6%	14.3%	15.1%	14.0%
県議会議員選挙	5.4%	4.6%	10.0%	11.0%	12.8%	13.5%	14.2%	10.4%
市長選挙	11.3%	13.8%	18.4%	18.8%	19.4%	18.9%	17.9%	16.4%
市議会選挙	5.5%	6.0%	12.6%	16.8%	18.4%	18.1%	17.9%	13.4%
関心がない	31.0%	24.8%	10.0%	3.1%	3.1%	0.6%	0.6%	10.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### 選択肢ごとの人数構成



### 比率



### 分析

10歳代及び20歳代は「関心がない」を選んだ人が多く、40歳以上で「関心がない」を選んだ人は少なかった。「衆議院議員選挙」はいずれの年代も関心が高く、次に「市長選挙」が続く。「参議院議員選挙」、「県知事選挙」は年代による傾向の違いがあまり見られない。

【問5】あなたは、投票日当日に投票へ行けない方のための「期日前投票制度」をご存知ですか。(○はひとつ)

集計表

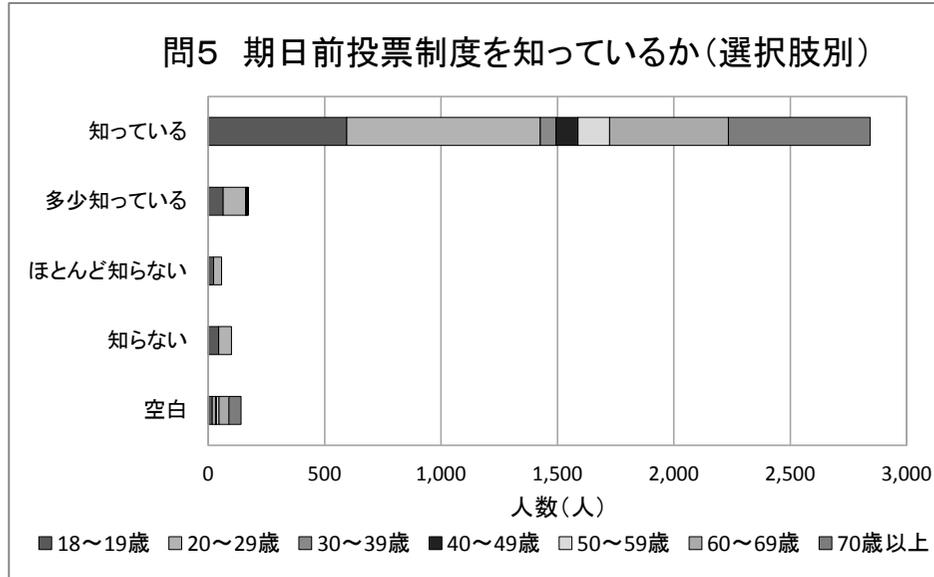
単位：人

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
知っている	595	831	67	95	136	511	609	2,844
多少知っている	64	96	2	1	3	3	3	172
ほとんど知らない	23	34	0	0	0	0	0	57
知らない	45	54	0	0	0	0	0	99
空白	18	13	1	3	11	42	53	141
合計	745	1,028	70	99	150	556	665	3,313

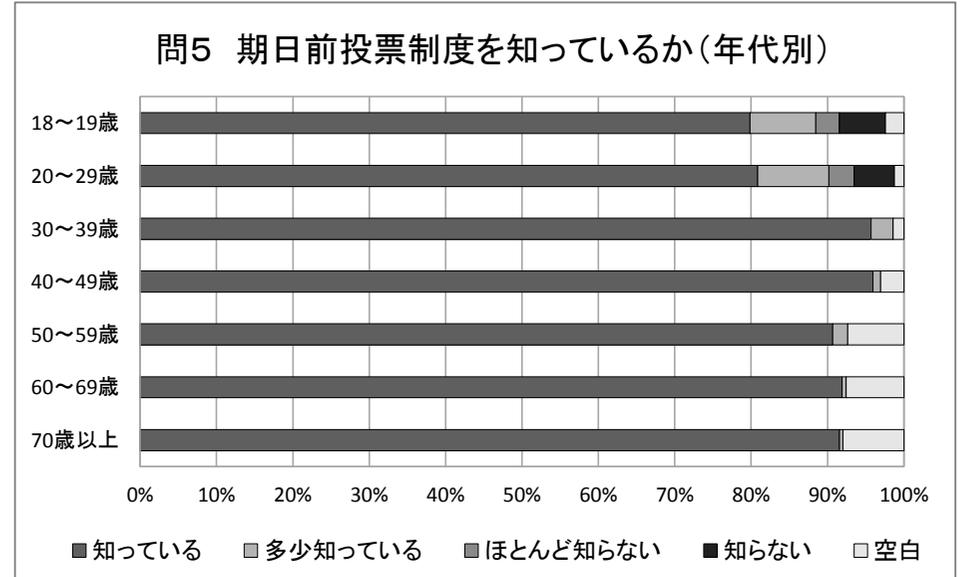
選択肢ごとの比率

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
知っている	79.9%	80.8%	95.7%	96.0%	90.7%	91.9%	91.6%	85.8%
多少知っている	8.6%	9.3%	2.9%	1.0%	2.0%	0.5%	0.5%	5.2%
ほとんど知らない	3.1%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%
知らない	6.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%
空白	2.4%	1.3%	1.4%	3.0%	7.3%	7.6%	8.0%	4.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

選択肢ごとの人数構成



比率



分析

どの年代も期日前投票制度を知っているが、10歳代及び20歳代では「知らない」、「ほとんど知らない」と回答した人が、それぞれ約10%いる。

【問6】あなたは、出張で他市区町村に滞在している場合や、ケガや病気で病院に入院している場合でも投票ができる「不在者投票制度」をご存知ですか。(○はひとつ)

集計表

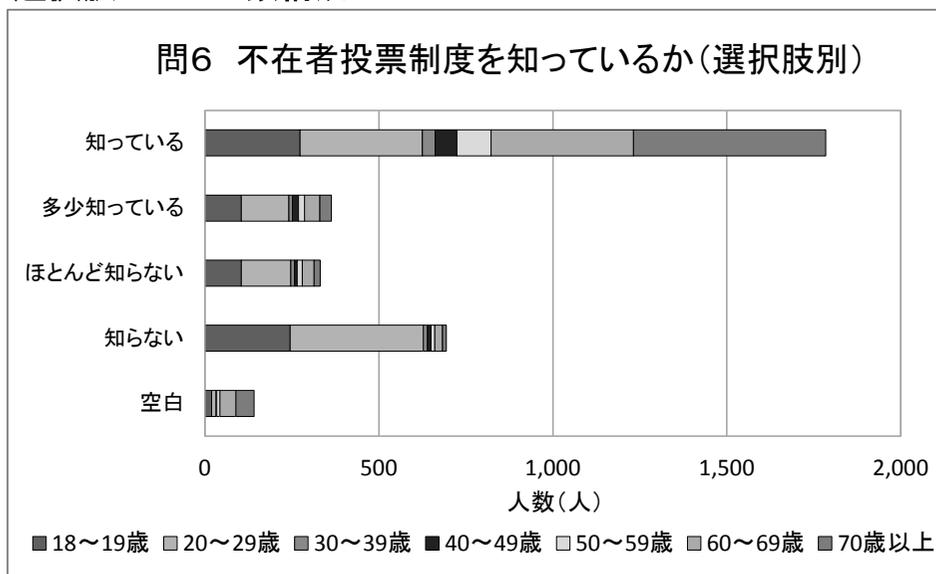
単位:人

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
知っている	273	352	37	62	98	410	552	1,784
多少知っている	104	137	10	18	17	44	33	363
ほとんど知らない	104	143	11	7	15	34	17	331
知らない	245	383	12	10	11	22	11	694
空白	19	13	0	2	9	46	52	141
合計	745	1,028	70	99	150	556	665	3,313

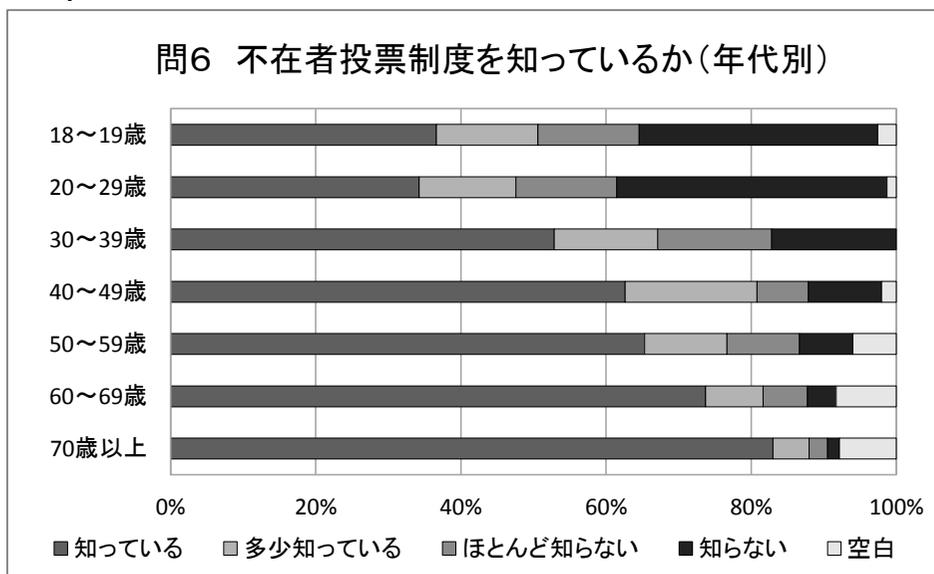
選択肢ごとの比率

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
知っている	36.6%	34.2%	52.9%	62.6%	65.3%	73.7%	83.0%	53.8%
多少知っている	14.0%	13.3%	14.3%	18.2%	11.3%	7.9%	5.0%	11.0%
ほとんど知らない	14.0%	13.9%	15.7%	7.1%	10.0%	6.1%	2.6%	10.0%
知らない	32.9%	37.3%	17.1%	10.1%	7.3%	4.0%	1.7%	20.9%
空白	2.6%	1.3%	0.0%	2.0%	6.0%	8.3%	7.8%	4.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

選択肢ごとの人数構成



比率



分析

年代が高くなるほど不在者投票制度の認知度が高くなり、70歳代以上では「知っている」が80%を超えている。10歳代及び20歳代では「知っている」と「知らない」がほぼ同比率である。

【問7】最近の選挙で課題となっている、投票日当日の投票率が低いことについてあなたは関心がありますか。(〇はひとつ)

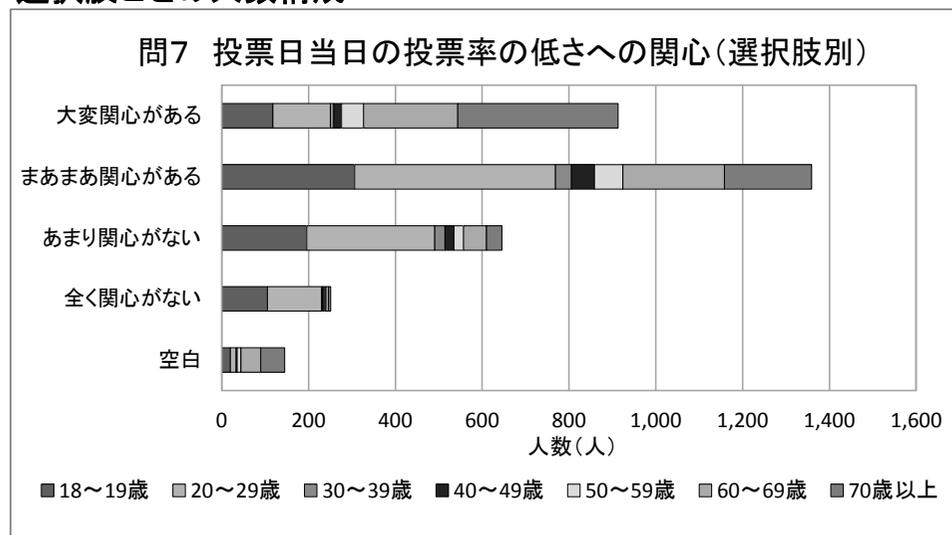
集計表

区分	単位:人							合計
	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
大変関心がある	118	132	8	18	51	217	369	913
まあまあ関心がある	306	463	37	53	65	234	201	1,359
あまり関心がない	196	295	23	21	22	53	35	645
全く関心がない	105	125	2	5	3	6	5	251
空白	20	13	0	2	9	46	55	145
合計	745	1,028	70	99	150	556	665	3,313

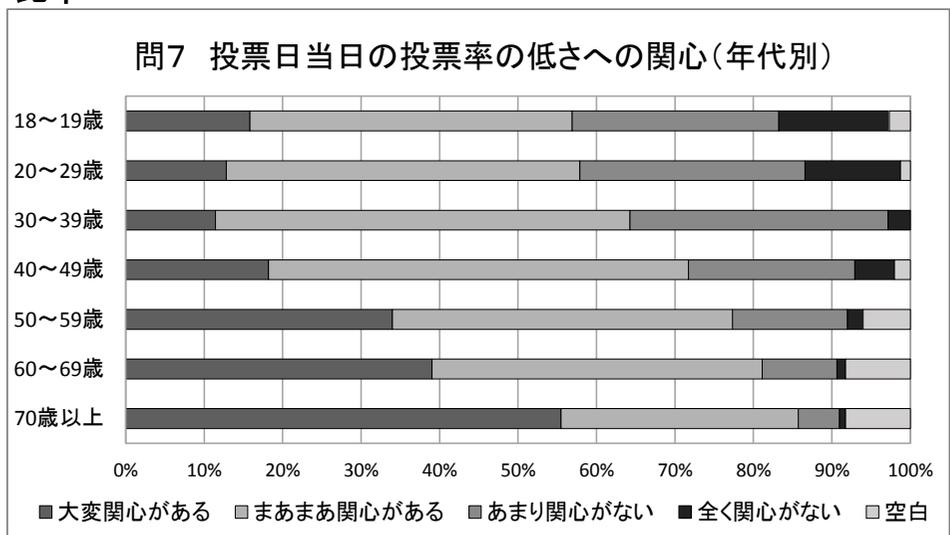
選択肢ごとの比率

区分	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	合計
大変関心がある	15.8%	12.8%	11.4%	18.2%	34.0%	39.0%	55.5%	27.6%
まあまあ関心がある	41.1%	45.0%	52.9%	53.5%	43.3%	42.1%	30.2%	41.0%
あまり関心がない	26.3%	28.7%	32.9%	21.2%	14.7%	9.5%	5.3%	19.5%
全く関心がない	14.1%	12.2%	2.9%	5.1%	2.0%	1.1%	0.8%	7.6%
空白	2.7%	1.3%	0.0%	2.0%	6.0%	8.3%	8.3%	4.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(大変+まあまあ)関心がある	56.9%	57.9%	64.3%	71.7%	77.3%	81.1%	85.7%	
(あまり+全く)関心がない	40.4%	40.9%	35.7%	26.3%	16.7%	10.6%	6.0%	

選択肢ごとの人数構成



比率



分析

「大変関心がある」と「まあまあ関心がある」の合計の比率は、年代が上がるにつれて高くなり、「あまり関心がない」と「全く関心がない」の合計の比率は、若年層が高かった。

【問8】選挙への関心を高め投票率の向上を図るためには、どうすればよいと思いますか。( )内のどちらかに○を付けてください。

※1:( )の内容は、「そう思う」、「そう思わない」の二択。

集計表(「そう思う」選択者数)

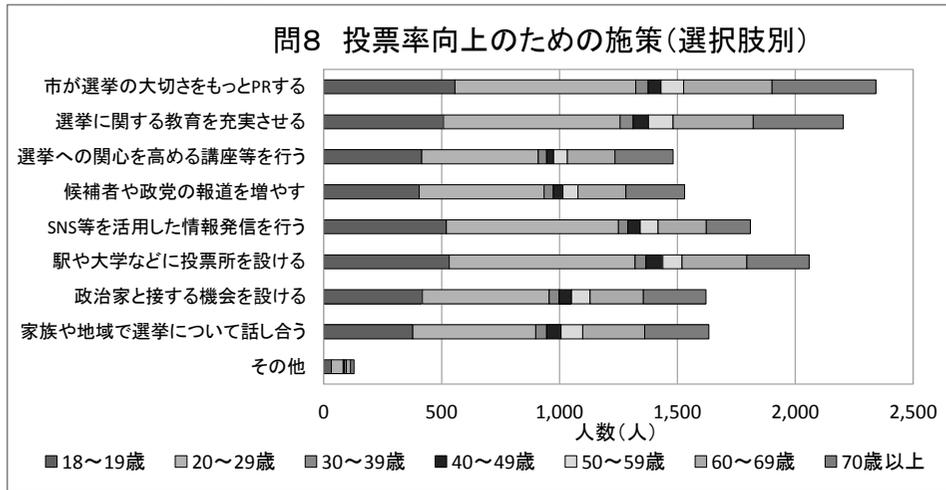
単位:人

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
市が選挙の大切さをもっとPRする	557	766	53	54	97	375	440	2,342
選挙に関する教育を充実させる	508	749	56	65	104	340	382	2,204
選挙への関心を高める講座等を行う	416	494	35	30	59	201	246	1,481
候補者や政党の報道を増やす	405	529	40	41	63	203	250	1,531
SNS等を活用した情報発信を行う	520	730	40	52	76	204	188	1,810
駅や大学などに投票所を設ける	533	787	47	71	81	275	264	2,058
政治家と接する機会を設ける	419	537	42	53	79	226	265	1,621
家族や地域で選挙について話し合う	378	521	46	61	93	262	272	1,633
その他	32	51	3	4	6	18	15	129
合計	3,768	5,164	362	431	658	2,104	2,322	14,809

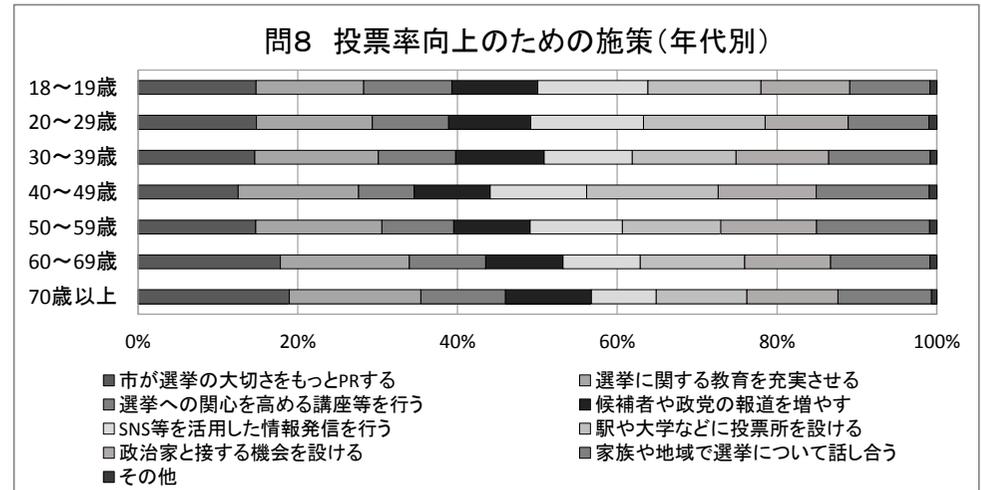
選択肢ごとの比率

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
市が選挙の大切さをもっとPRする	14.8%	14.8%	14.6%	12.5%	14.7%	17.8%	18.9%	15.8%
選挙に関する教育を充実させる	13.5%	14.5%	15.5%	15.1%	15.8%	16.2%	16.5%	14.9%
選挙への関心を高める講座等を行う	11.0%	9.6%	9.7%	7.0%	9.0%	9.6%	10.6%	10.0%
候補者や政党の報道を増やす	10.7%	10.2%	11.0%	9.5%	9.6%	9.6%	10.8%	10.3%
SNS等を活用した情報発信を行う	13.8%	14.1%	11.0%	12.1%	11.6%	9.7%	8.1%	12.2%
駅や大学などに投票所を設ける	14.1%	15.2%	13.0%	16.5%	12.3%	13.1%	11.4%	13.9%
政治家と接する機会を設ける	11.1%	10.4%	11.6%	12.3%	12.0%	10.7%	11.4%	10.9%
家族や地域で選挙について話し合う	10.0%	10.1%	12.7%	14.2%	14.1%	12.5%	11.7%	11.0%
その他	0.8%	1.0%	0.8%	0.9%	0.9%	0.9%	0.6%	0.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

選択肢ごとの人数構成



比率



分析

いずれの年代でも回答に大きな差はない。「市が選挙の大切さをPR」、「選挙に関する教育の充実」はいずれの年代でも比率が高い。「市が選挙の大切さをPR」は年代が上がるほど比率が高く、若年層は「SNS等を利用した情報発信」、「駅や大学などに投票所を設ける」を選択した比率が高い。

【問9】選挙での投票率が低いことについて、その原因として考えられるのは何だと思えますか。(複数回答可)

集計表

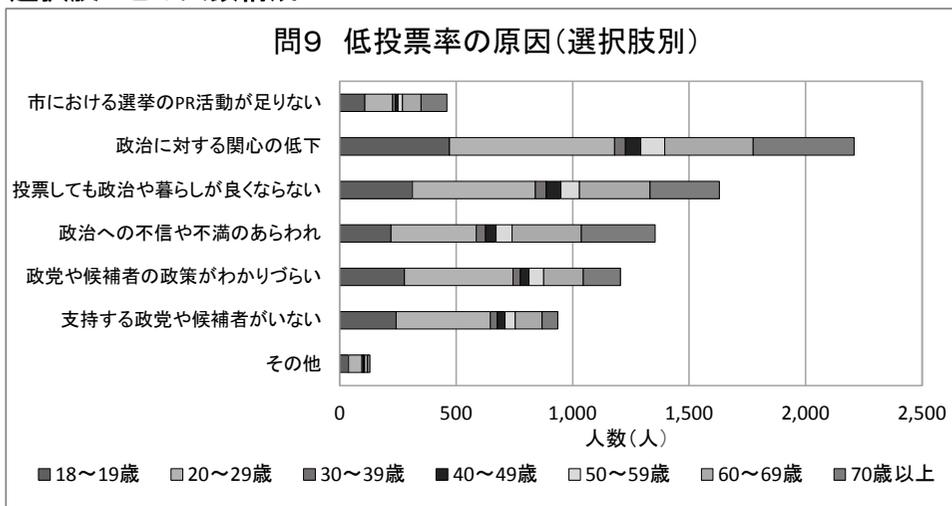
単位:人

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
市における選挙のPR活動が足りない	108	120	12	10	20	79	112	461
政治に対する関心の低下	471	709	47	66	103	379	433	2,208
投票しても政治や暮らしが良くならない	312	528	47	63	80	303	297	1,630
政治への不信や不満のあらわれ	221	366	39	45	69	298	317	1,355
政党や候補者の政策がわかりづらい	278	466	32	37	63	170	159	1,205
支持する政党や候補者がいない	242	405	30	33	44	115	67	936
その他	38	58	5	3	3	12	11	130
合計	1,670	2,652	212	257	382	1,356	1,396	7,925

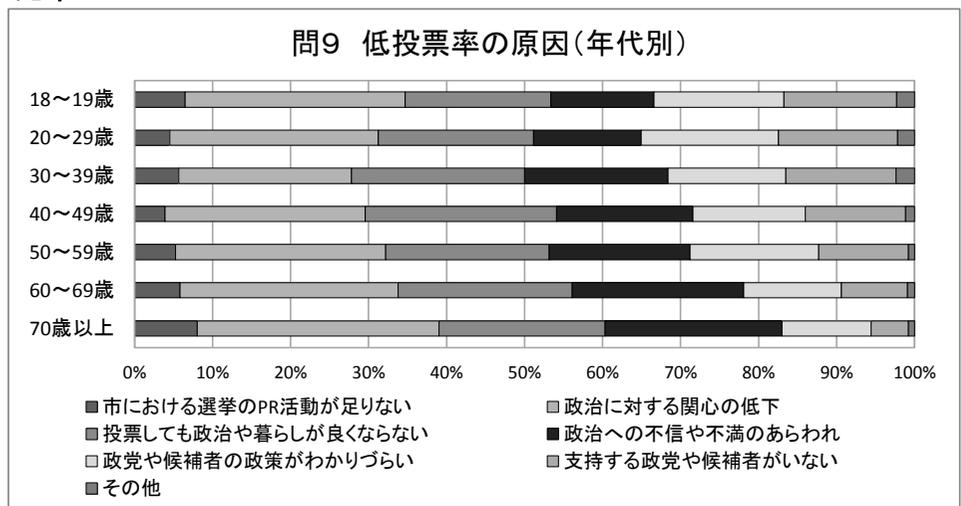
選択肢ごとの比率

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
市における選挙のPR活動が足りない	6.5%	4.5%	5.7%	3.9%	5.2%	5.8%	8.0%	5.8%
政治に対する関心の低下	28.2%	26.7%	22.2%	25.7%	27.0%	27.9%	31.0%	27.9%
投票しても政治や暮らしが良くならない	18.7%	19.9%	22.2%	24.5%	20.9%	22.3%	21.3%	20.6%
政治への不信や不満のあらわれ	13.2%	13.8%	18.4%	17.5%	18.1%	22.0%	22.7%	17.1%
政党や候補者の政策がわかりづらい	16.6%	17.6%	15.1%	14.4%	16.5%	12.5%	11.4%	15.2%
支持する政党や候補者がいない	14.5%	15.3%	14.2%	12.8%	11.5%	8.5%	4.8%	11.8%
その他	2.3%	2.2%	2.4%	1.2%	0.8%	0.9%	0.8%	1.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

選択肢ごとの人数構成



比率



分析

すべての年代で「政治に対する関心の低下」、「投票しても政治や暮らしが良くならない」が多い。「政党や候補者の政策がわかりづらい」、「支持する政党や候補者がいない」の比率は、10歳代及び20歳代で高く、高年層は低い。「政治への不信や不満のあらわれ」は年代が上がるほど高い。「市の選挙のPRが足りない」はどの年代も比率が低い、【問8】では投票率の向上を図るには「市が選挙の大切さをPRする」と回答した割合が高くなっており、対照的な結果となった。このことから、市として「選挙が行われることのPR」は足りているが、「選挙の大切さのPR」が不足していると捉えられる。

【問10】選挙管理委員会では、さまざまな方法で選挙の啓発を行っていますが、あなたが見たり聞いたりしたものはありますか。(複数回答可)

集計表

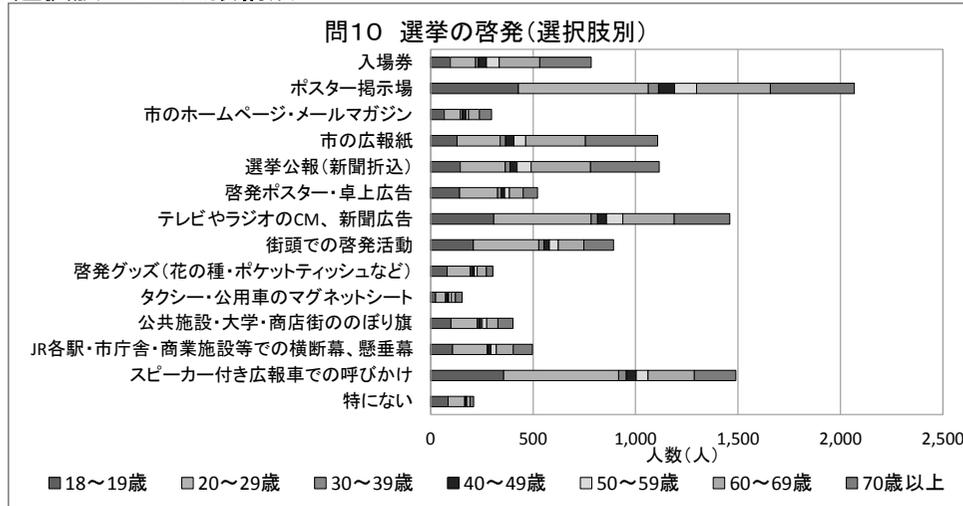
区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
入場券	96	123	15	39	61	199	251	784
ポスター掲示場	429	634	49	78	107	360	411	2,068
市のホームページ・メールマガジン	66	78	11	17	13	53	60	298
市の広報紙	129	211	26	40	58	291	353	1,108
選挙公報(新聞折込)	145	219	23	35	68	291	335	1,116
啓発ポスター・卓上広告	142	185	19	15	23	67	70	521
テレビやラジオのCM、新聞広告	308	475	32	43	79	252	270	1,459
街頭での啓発活動	209	319	25	27	43	125	145	893
啓発グッズ(花の種・ポケットティッシュなど)	81	112	7	13	15	45	31	304
タクシー・公用車のマグネットシート	24	49	7	8	13	20	33	154
公共施設・大学・商店街ののぼり旗	99	128	8	17	22	55	73	402
JR各駅・市庁舎・商業施設等での横断幕、懸垂幕	108	167	6	13	26	83	94	497
スピーカー付き広報車での呼びかけ	356	561	38	48	58	225	203	1,489
特にない	85	82	2	2	5	17	17	210
合計	2,277	3,343	268	395	591	2,083	2,346	11,303

単位:人

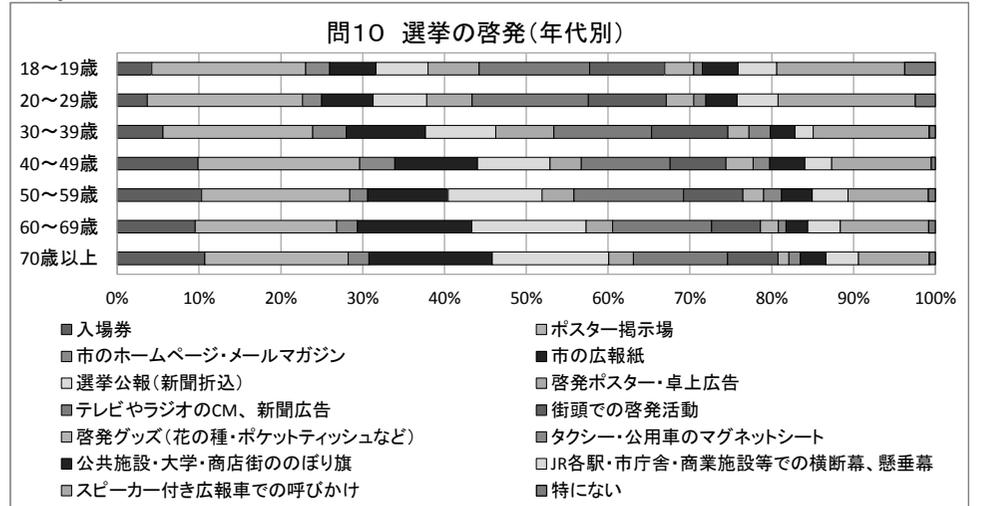
選択肢ごとの比率

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
入場券	4.2%	3.7%	5.6%	9.9%	10.3%	9.6%	10.7%	6.9%
ポスター掲示場	18.8%	19.0%	18.3%	19.7%	18.1%	17.3%	17.5%	18.3%
市のホームページ・メールマガジン	2.9%	2.3%	4.1%	4.3%	2.2%	2.5%	2.6%	2.6%
市の広報紙	5.7%	6.3%	9.7%	10.1%	9.8%	14.0%	15.0%	9.8%
選挙公報(新聞折込)	6.4%	6.6%	8.6%	8.9%	11.5%	14.0%	14.3%	9.9%
啓発ポスター・卓上広告	6.2%	5.5%	7.1%	3.8%	3.9%	3.2%	3.0%	4.6%
テレビやラジオのCM、新聞広告	13.5%	14.2%	11.9%	10.9%	13.4%	12.1%	11.5%	12.9%
街頭での啓発活動	9.2%	9.5%	9.3%	6.8%	7.3%	6.0%	6.2%	7.9%
啓発グッズ(花の種・ポケットティッシュなど)	3.6%	3.4%	2.6%	3.3%	2.5%	2.2%	1.3%	2.7%
タクシー・公用車のマグネットシート	1.1%	1.5%	2.6%	2.0%	2.2%	1.0%	1.4%	1.4%
公共施設・大学・商店街ののぼり旗	4.3%	3.8%	3.0%	4.3%	3.7%	2.6%	3.1%	3.6%
JR各駅・市庁舎・商業施設等での横断幕、懸垂幕	4.7%	5.0%	2.2%	3.3%	4.4%	4.0%	4.0%	4.4%
スピーカー付き広報車での呼びかけ	15.6%	16.8%	14.2%	12.2%	9.8%	10.8%	8.7%	13.2%
特にない	3.7%	2.5%	0.7%	0.5%	0.8%	0.8%	0.7%	1.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

選択肢ごとの人数構成



比率



分析

「ポスター掲示場」、「テレビやラジオのCM・新聞広告」はどの年代も多い。「スピーカー付き広報車」は若年層に多い。「入場券」、「市の広報紙」、「選挙公報(新聞折込)」は若年層は低く、高年層で高い。「市のホームページ・メールマガジン」は全体的に低い。

【問11】あなたが、候補者や政党を選ぶ際に役立てる情報としては、何を見て判断していますか。(複数回答可)

集計表

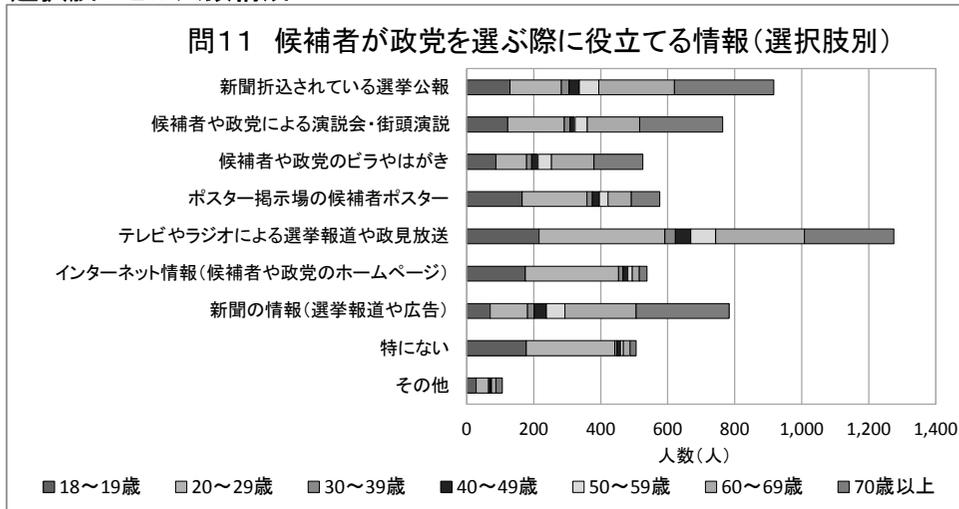
単位:人

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
新聞折込されている選挙公報	129	154	23	30	58	226	297	917
候補者や政党による演説会・街頭演説	122	169	17	16	36	156	248	764
候補者や政党のビラやはがき	87	92	15	19	40	127	146	526
ポスター掲示場の候補者ポスター	165	194	16	21	26	69	85	576
テレビやラジオによる選挙報道や政見放送	216	376	31	46	74	265	267	1,275
インターネット情報(候補者や政党のホームページ)	175	278	14	14	13	21	23	538
新聞の情報(選挙報道や広告)	70	112	20	36	55	213	277	783
特にない	178	264	7	10	9	20	18	506
その他	28	37	4	2	3	13	19	106
合計	1,170	1,676	147	194	314	1,110	1,380	5,991

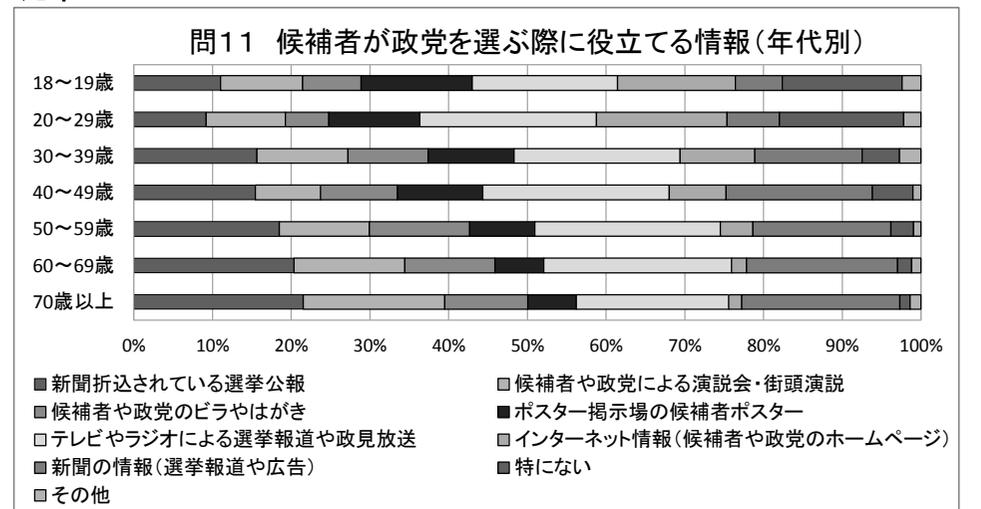
選択肢ごとの比率

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
新聞折込されている選挙公報	11.0%	9.2%	15.6%	15.5%	18.5%	20.4%	21.5%	15.3%
候補者や政党による演説会・街頭演説	10.4%	10.1%	11.6%	8.2%	11.5%	14.1%	18.0%	12.8%
候補者や政党のビラやはがき	7.4%	5.5%	10.2%	9.8%	12.7%	11.4%	10.6%	8.8%
ポスター掲示場の候補者ポスター	14.1%	11.6%	10.9%	10.8%	8.3%	6.2%	6.2%	9.6%
テレビやラジオによる選挙報道や政見放送	18.5%	22.4%	21.1%	23.7%	23.6%	23.9%	19.3%	21.3%
インターネット情報(候補者や政党のホームページ)	15.0%	16.6%	9.5%	7.2%	4.1%	1.9%	1.7%	9.0%
新聞の情報(選挙報道や広告)	6.0%	6.7%	13.6%	18.6%	17.5%	19.2%	20.1%	13.1%
特にない	15.2%	15.8%	4.8%	5.2%	2.9%	1.8%	1.3%	8.4%
その他	2.4%	2.2%	2.7%	1.0%	1.0%	1.2%	1.4%	1.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

選択肢ごとの人数構成



比率



分析

10歳代及び20歳代は「インターネット情報」、「特にない」が他の年代と比べて高く、30歳代以降は「新聞折込されている選挙公報」、「新聞の情報」の比率が高い。「テレビやラジオによる選挙報道や政見放送」、「候補者や政党による演説会・街頭演説」はいずれの年代も多く、「候補者ポスター」から情報を得る比率は、若年層の方が比較的高い。また、「その他」に記載されていた回答の中で、20歳代では「家族からの情報」とする意見が多かった。

【問12】あなたは、政治や選挙について、次の方々と話をすることはありますか。(複数回答可)

集計表

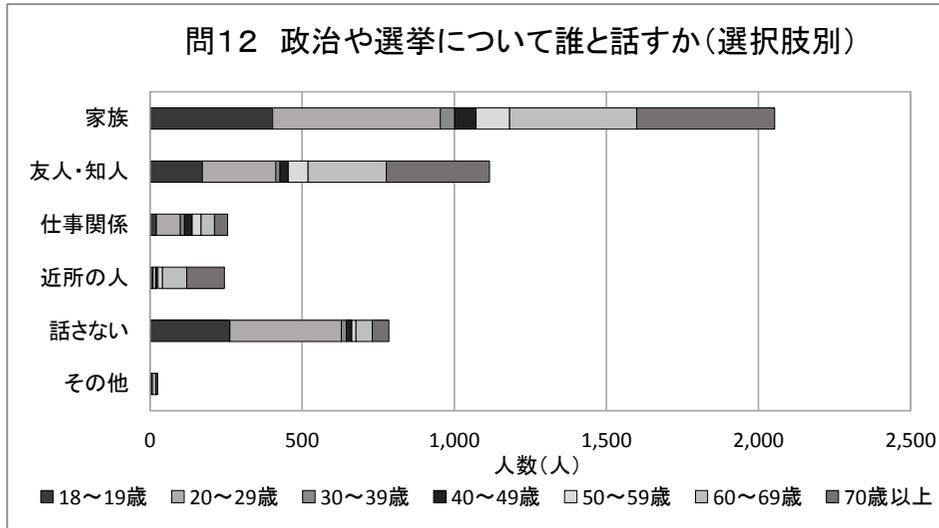
単位：人

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
家族	403	551	48	70	110	418	453	2,053
友人・知人	172	242	13	28	65	257	339	1,116
仕事関係	21	79	13	26	29	44	43	255
近所の人	10	9	2	5	15	80	124	245
話さない	263	366	17	18	13	54	54	785
その他	7	12	0	0	0	1	5	25
合計	876	1,259	93	147	232	854	1,018	4,479

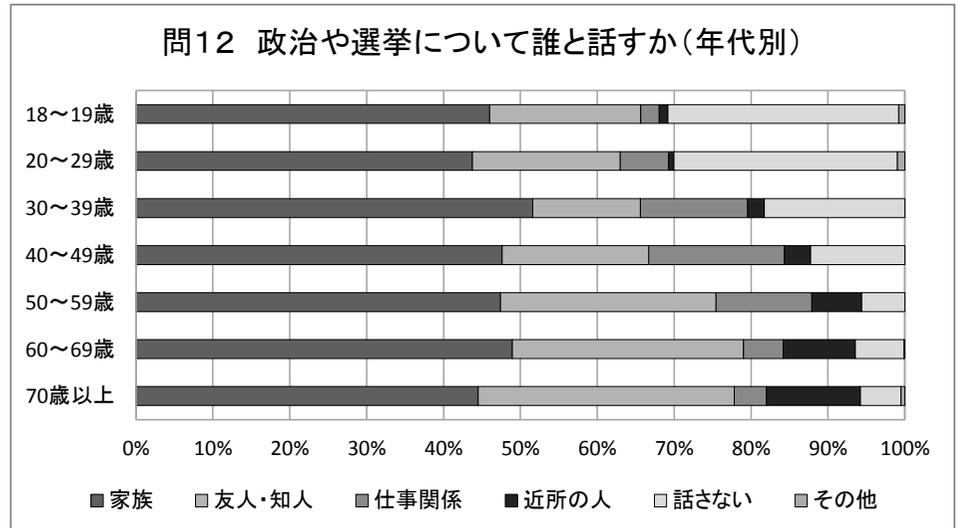
選択肢ごとの比率

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
家族	46.0%	43.8%	51.6%	47.6%	47.4%	48.9%	44.5%	45.8%
友人・知人	19.6%	19.2%	14.0%	19.0%	28.0%	30.1%	33.3%	24.9%
仕事関係	2.4%	6.3%	14.0%	17.7%	12.5%	5.2%	4.2%	5.7%
近所の人	1.1%	0.7%	2.2%	3.4%	6.5%	9.4%	12.2%	5.5%
話さない	30.0%	29.1%	18.3%	12.2%	5.6%	6.3%	5.3%	17.5%
その他	0.8%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.5%	0.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

選択肢ごとの人数構成



比率



分析

いずれの年代も「家族」が最も多い。若年層は「話さない」の比率が高い。「友人・知人」はどの年代も比率が高いが、50歳代以降では比率が急増する。「仕事関係」は30歳代～50歳代が比率が高い。「近所の人」は年代が上がるほど高くなる。

## 【問13】あなたのご家族は投票に行っていますか。(〇はひとつ)

### 集計表

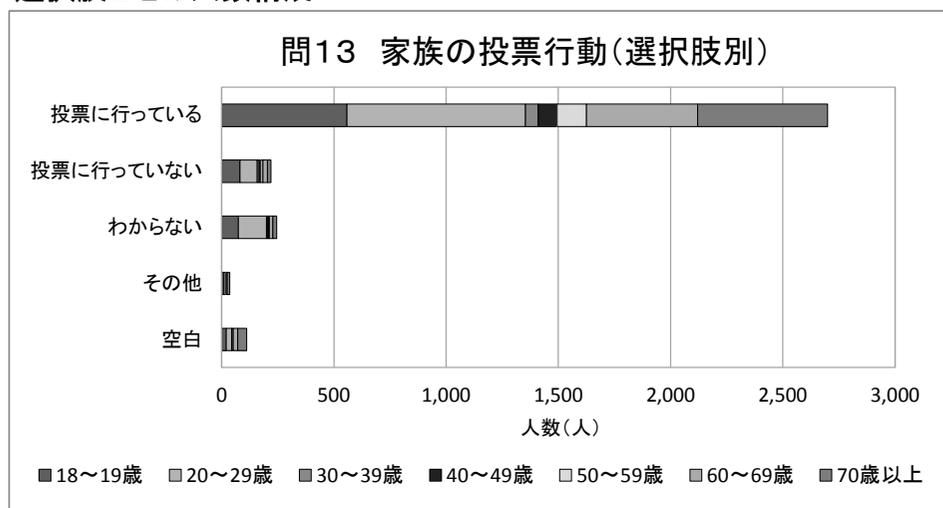
区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
投票に行っている	558	795	58	83	131	495	580	2,700
投票に行っていない	82	76	9	7	10	20	16	220
わからない	74	125	3	8	3	15	17	245
その他	11	7	0	0	1	5	12	36
空白	20	25	0	1	5	21	40	112
合計	745	1,028	70	99	150	556	665	3,313

単位:人

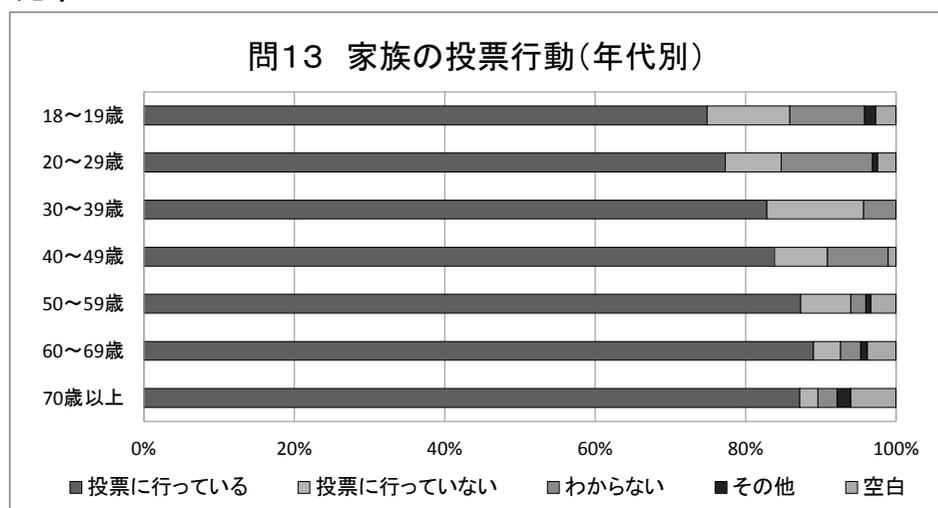
### 選択肢ごとの比率

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
投票に行っている	74.9%	77.3%	82.9%	83.8%	87.3%	89.0%	87.2%	81.5%
投票に行っていない	11.0%	7.4%	12.9%	7.1%	6.7%	3.6%	2.4%	6.6%
わからない	9.9%	12.2%	4.3%	8.1%	2.0%	2.7%	2.6%	7.4%
その他	1.5%	0.7%	0.0%	0.0%	0.7%	0.9%	1.8%	1.1%
空白	2.7%	2.4%	0.0%	1.0%	3.3%	3.8%	6.0%	3.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### 選択肢ごとの人数構成



### 比率



### 分析

どの年代でも「家族が投票に行っている」が最も多く、60歳代までは年代が上がるほど比率が増加している。10歳代及び20歳代では「家族が投票しているかわからない」の比率が高い。

【問14】あなたは、ご家族と一緒に投票へ行っただことがありますか。(○はひとつ)

集計表

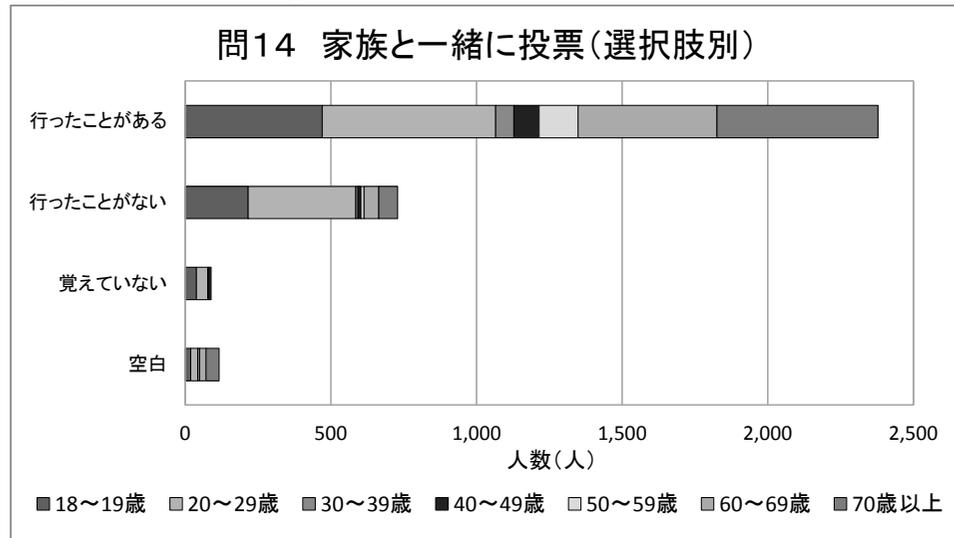
単位:人

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
行ったことがある	471	595	62	87	134	477	553	2,379
行ったことがない	216	370	7	10	11	51	64	729
覚えていない	39	39	1	1		5	4	89
空白	19	24	0	1	5	23	44	116
合計	745	1,028	70	99	150	556	665	3,313

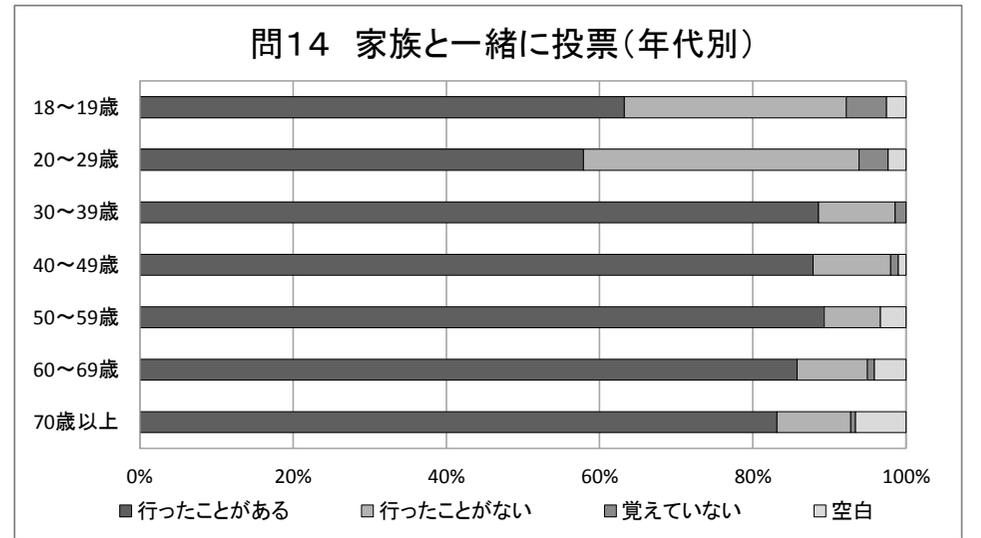
選択肢ごとの比率

区分	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
行ったことがある	63.2%	57.9%	88.6%	87.9%	89.3%	85.8%	83.2%	71.8%
行ったことがない	29.0%	36.0%	10.0%	10.1%	7.3%	9.2%	9.6%	22.0%
覚えていない	5.2%	3.8%	1.4%	1.0%	0.0%	0.9%	0.6%	2.7%
空白	2.6%	2.3%	0.0%	1.0%	3.3%	4.1%	6.6%	3.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

選択肢ごとの人数構成



比率



分析

どの年代も「家族と一緒に投票に行ったことがある」が最も多いが、10歳代及び20歳代は他の年代に比べて比率が低い。また、10歳代及び20歳代では「行ったことがない」、「覚えていない」が他の年代に比べて比率が高い。

## 選挙に関するアンケート

# 4 その他の集計結果

その他の集計では、問1の「自分が投票に行く頻度」と他の質問項目とのクロス集計を行い、「自分が投票に行く頻度」と他の質問項目との相関を分析しました。



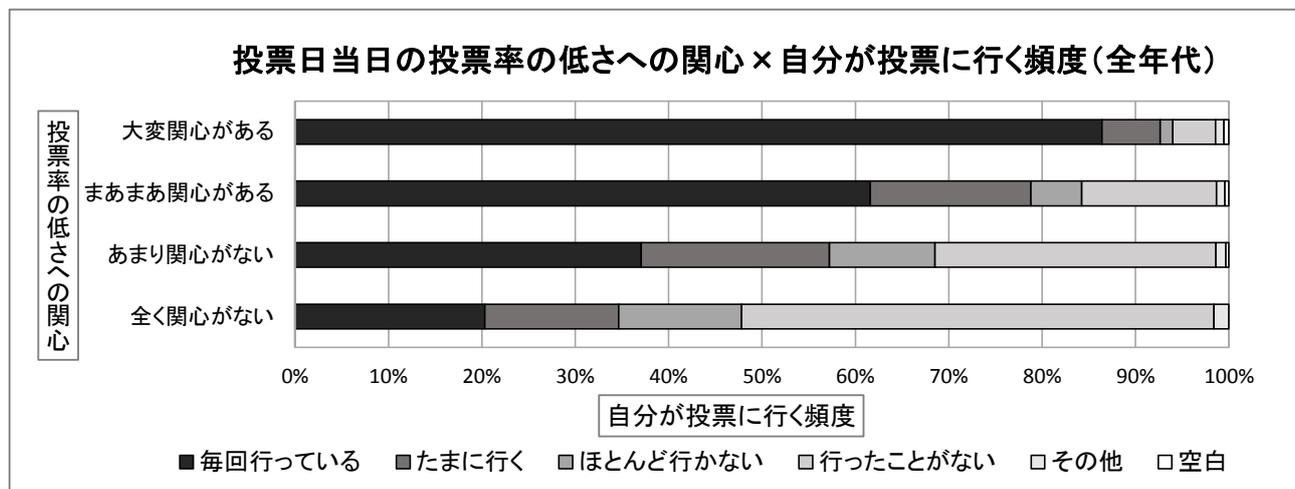
【問1×問7】「投票日当日の投票率の低さへの関心」と「自分が投票に行く頻度」に関連があるか。

集計表(全年代)

単位:人

【問7】投票日当日の投票率の低さへの関心	【問1】自分が投票に行く頻度						合計
	毎回行っている	たまに行く	ほとんど行かない	行ったことがない	その他	空白	
大変関心がある	789	57	12	42	8	5	913
まあまあ関心がある	837	234	74	196	12	6	1,359
あまり関心がない	239	130	73	194	7	2	645
全く関心がない	51	36	33	127	4	0	251
合計	1,916	457	192	559	31	13	3,168

比率(全年代)

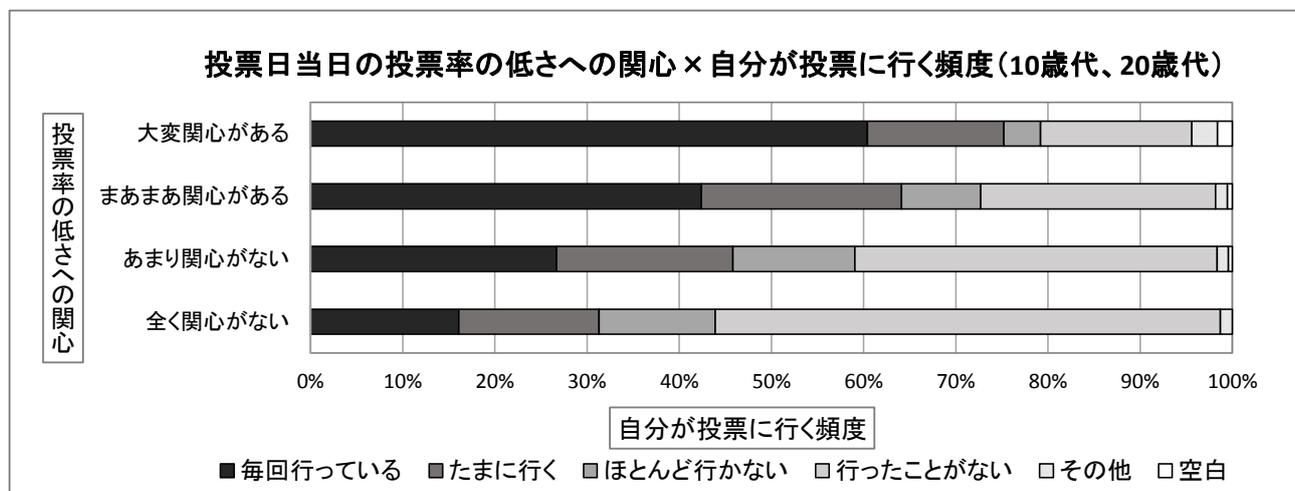


集計表(10歳代、20歳代)

単位:人

【問7】投票日当日の投票率の低さへの関心	【問1】自分が投票に行く頻度						合計
	毎回行っている	たまに行く	ほとんど行かない	行ったことがない	その他	空白	
大変関心がある	151	37	10	41	7	4	250
まあまあ関心がある	326	167	66	196	10	4	769
あまり関心がない	131	94	65	193	6	2	491
全く関心がない	37	35	29	126	3	0	230
合計	645	333	170	556	26	10	1,740

比率(10歳代、20歳代)



分析

投票日当日の投票率の低さに関心がある層ほど、自分が投票に行く比率が高い。  
 全年代と10歳代及び20歳代を比較すると、若年層のほうが自分が投票に行く頻度は低いが、傾向とすると大差は見られない。

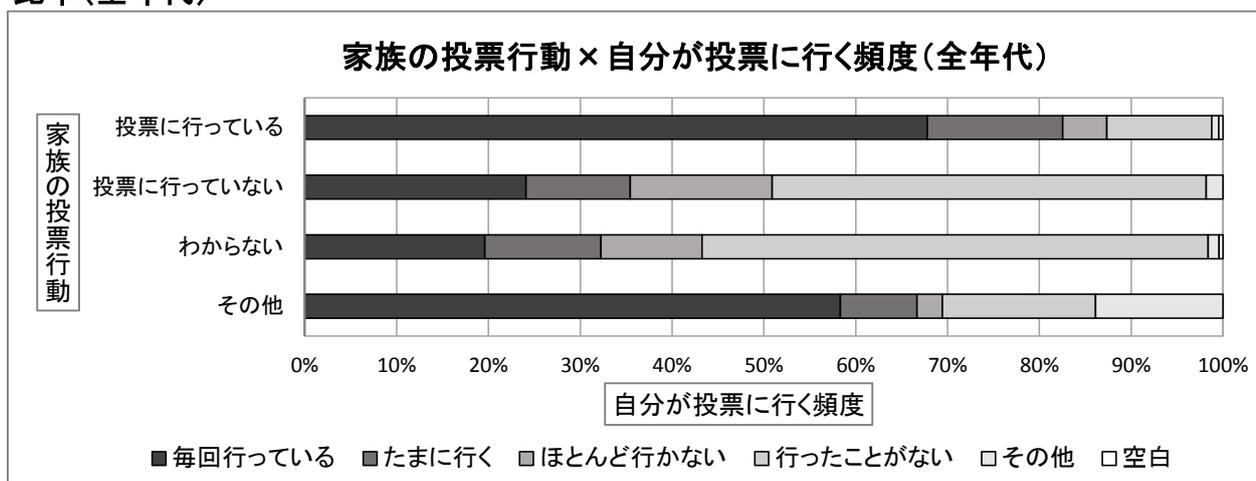
【問1×問13】「家族の投票行動」と「自分が投票に行く頻度」に関連があるか。

集計表(全年代)

単位:人

【問13】家族の投票行動	【問1】自分が投票に行く頻度						合計
	毎回行っている	たまに行く	ほとんど行かない	行ったことがない	その他	空白	
投票に行っている	1,830	399	129	309	21	12	2,700
投票に行っていない	53	25	34	104	4	0	220
わからない	48	31	27	135	3	1	245
その他	21	3	1	6	5	0	36
合計	1,952	458	191	554	33	13	3,201

比率(全年代)

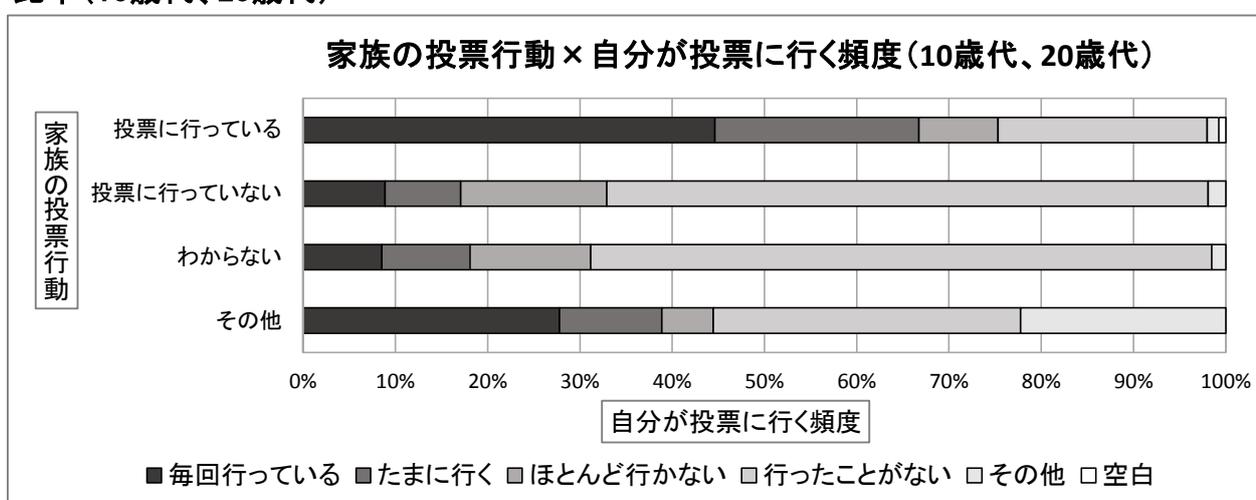


集計表(10歳代、20歳代)

単位:人

【問13】家族の投票行動	【問1】自分が投票に行く頻度						合計
	毎回行っている	たまに行く	ほとんど行かない	行ったことがない	その他	空白	
投票に行っている	604	299	116	307	17	10	1,353
投票に行っていない	14	13	25	103	3	0	158
わからない	17	19	26	134	3	0	199
その他	5	2	1	6	4	0	18
合計	640	333	168	550	27	10	1,728

比率(10歳代、20歳代)



分析

「家族が投票に行っていない」、「わからない」と答えた層は、自分が投票に行く頻度も低い。特に10歳代及び20歳代でその傾向が強い。

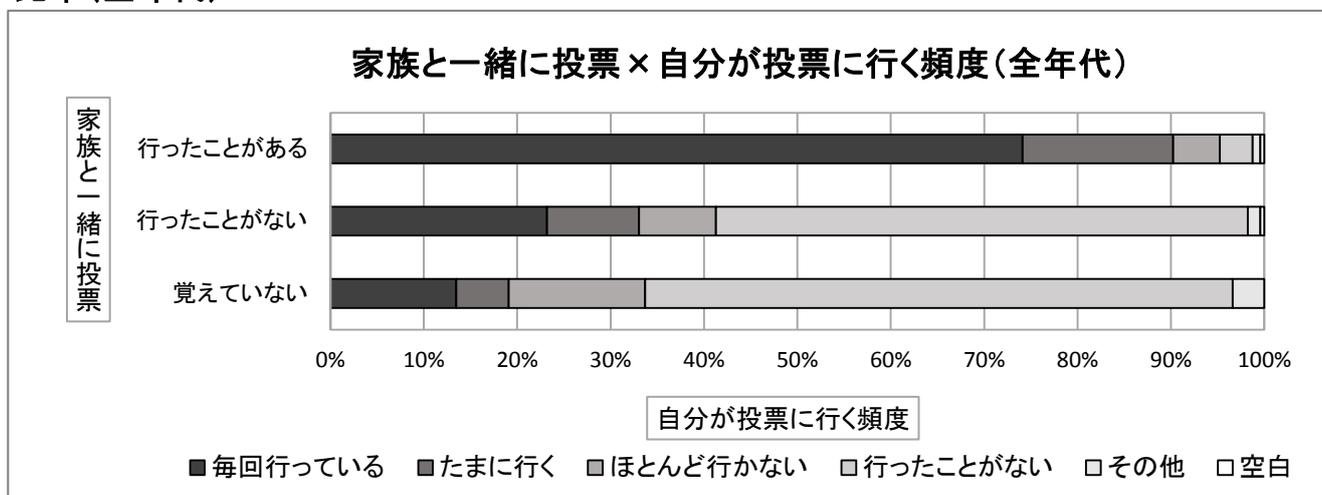
【問1×問14】「家族と一緒に投票に行った経験」と「自分が投票に行く頻度」に関連があるか。

### 集計表(全年代)

単位:人

【問14】家族と一緒に投票	【問1】自分が投票に行く頻度						合計
	毎回行っている	たまに行く	ほとんど行かない	行ったことがない	その他	空白	
行ったことがある	1,763	384	119	83	20	10	2,379
行ったことがない	169	72	60	415	10	3	729
覚えていない	12	5	13	56	3	0	89
合計	1,944	461	192	554	33	13	3,197

### 比率(全年代)

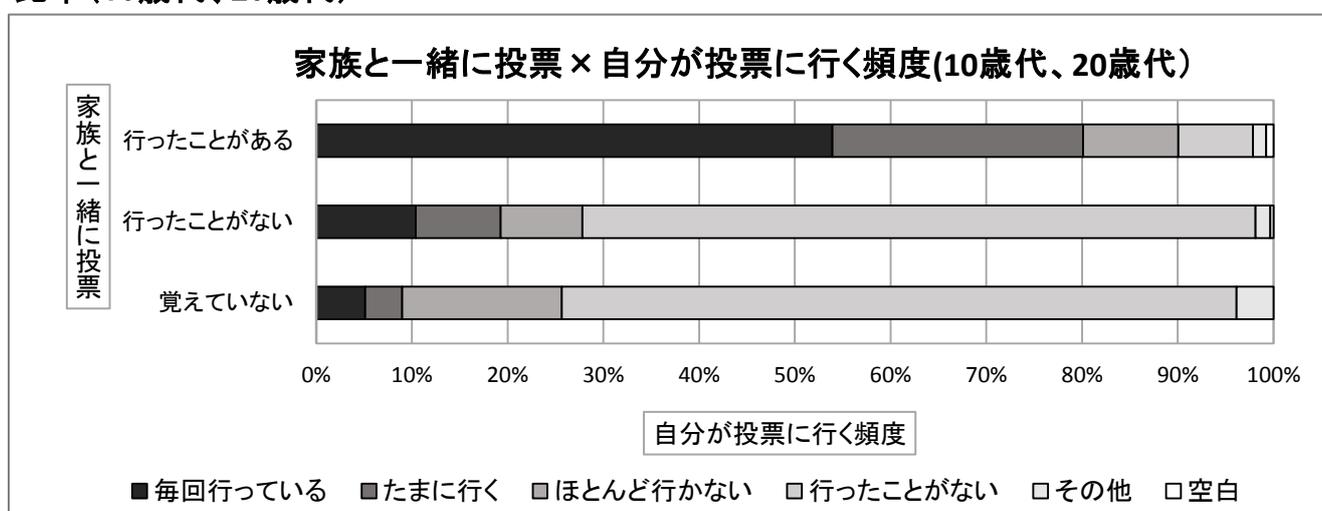


### 集計表(10歳代、20歳代)

単位:人

【問14】家族と一緒に投票	【問1】自分が投票に行く頻度						合計
	毎回行っている	たまに行く	ほとんど行かない	行ったことがない	その他	空白	
行ったことがある	575	279	106	83	15	8	1,066
行ったことがない	61	52	50	412	9	2	586
覚えていない	4	3	13	55	3	0	78
合計	640	334	169	550	27	10	1,730

### 比率(10歳代、20歳代)



### 分析

「家族と一緒に投票に行ったことがない」、「覚えていない」と答えた人は自分が投票に行く頻度も低い。特に10歳代及び20歳代にその傾向が強い。



## 選挙に関するアンケート

### 5 各質問の「その他」欄に記載されていた主な意見



## 各質問の「その他」欄に記載されていた主な意見(年代別)

【問1】 あなたは、投票に行っていますか。(○はひとつ)

年代	内容
18～19歳	今回初めて行った。
20～29歳	地元(住民票の所在地)に帰らないと選挙ができなかったから。 選挙に行かないのに政治に不満を持つのはいけないと思うから。
30歳以上	ほとんど行っている。

【問2】 問1で、「1 毎回行っている」「2 たまに行く」を選択した場合にお答えください、あなたが投票へ行く理由は何ですか。(複数回答可)

年代	内容
18～19歳	家族が投票に行くので一緒に行った。 行きなさいと言われたから。 投票しなければ政治に対して何も言えないから。
20～29歳	これからの日本を担う立場としてこうあってほしいと国への望みがあるから。 なんとなくしておくものだと思うから。 家族と一緒にいくから。 若者の投票率を上げるため。 選挙に行かないのに政治に不満を持つのはいけないと思うから。

【問3】 問1で「3 ほとんど行かない」「4 行ったことがない」を選択した場合にお答えください、あなたが投票へ行かない理由は何ですか。(複数回答可)

年代	内容
18～19歳	今の日本の政治に興味がない、納得していないから。 住民票を居住地に移していないから。
20～29歳	住民票を居住地に移していないから。 誰に投票しても日本は変わらないから。

【問8】 選挙への関心を高め投票率の向上を図るためには、どうすればよいと思いますか。( )内のどちらかに○を付けてください。

年代	内容
18～19歳	もっと住民の意見を反映させた政治をする。 選挙の義務化
20～29歳	インターネットでの投票制度 選挙で投票するメリットをもっと発信しなければいけないと思う。 マスコミが、政策の違いなどについて明確に報道する。
30歳以上	国民の主張を反映できる政党や議員が増えれば向上すると思うが、現状ではダメダメです。 小さい頃から選挙について周知させる。 小選挙区制を見直す。

【問9】 選挙での投票率が低いことについて、その原因として考えられるのは何だと思いますか。(複数回答可)

年代	内容
18～19歳	教育 人が変わっても、具体的に何がかわるか分からない。 若者が関心のある政策ではない。 誰がやっても同じだと思っている人が多い気がするし、実際そうだとも思う。
20～29歳	「投票する人が一人増えても結果は変わらない」「自分が投票したところで意味はない」という考えを持っている人が多い。 政策が、一般の方に向けて分かりやすく要点を押さえて説明されていない、わからない。 正直、誰が政治をやっても同じって思う。
30歳以上	自分の生活にもたらす影響について実感が無い。 国民を無視した政党中心の政治のあり方 判断する内容がわかりにくい、意思を示しにくい。

## 各質問の「その他」欄に記載されていた主な意見(年代別)

【問11】あなたが、候補者や政党を選ぶ際に役立てる情報としては、何を見て判断していますか。(複数回答可)

年代	内容
18～19歳	SNSに載ってる情報
	家族の意見
20～29歳	SNS
	家族からの情報
30歳以上	政治に関する本
	投票したい政党が決まっている。
	選挙期間に限らず日頃の政治姿勢、取組み

【問12】あなたは、政治や選挙について、次の方々と話をすることはありますか。(複数回答可)

年代	内容
18～29歳	先生(学校の)
	政治や宗教の話はデリケートなので話さない、話せない。

【問13】あなたのご家庭は投票に行っていますか。(○はひとつ)

年代	内容
18～19歳	行っている人と行っていない人が半々くらい。
30歳以上	不規則

## 選挙に関するアンケート

### 6 問15に記載されていた主な意見



## 問15に記載されていた主な意見(年代別)

【問15】最後に、選挙についてご意見などがありましたら、お聞かせください。

年代	内容
18～19歳	いまいち、まだ、誰が何をしているか分からなくて、誰に投票したいなどの意思がない。若者にも分かりやすいように、伝えて欲しい。
	インターネット投票がもっと便利になると嬉しいです。
	この間、投票に行ったが、立候補者の名前と顔が一致せず、よくわからなかった。自分が掲げたことを実行しているのかもしれないですが、私の生活には何も反映されていない気がする。アピールをもっとして、高校生の私たちにも分かるようなものにしてほしい。
	もう少しPR活動や高校生に声掛けを積極的に行うべき。SNSを使ったりして呼び掛けると良いと思う。
	もっとマシな政治家がいないと投票率は上がらないと思います。
	政治家がもっと真面目になって、責任を負うことができるような人が増えないと関心は薄いものになると思う。
	選挙に対して関心がある若者は増えてきていると思うので、若者向けPRをするとよいと思う。
	誰がどういう政策を掲げているのかが分からず、具体的な内容が伝わってこない。若者に得な政策を掲げている人が見当たらない。
	中高生の頃から関心を持たせること。
	投票率の低下の原因は関心の低下にあると思います。自分も、とりあえず投票には行っておくという感じで、あまり真剣には考えていません。政党や候補者の政策は意識的に知ろうとしないと得られないように感じています。もっと気軽にわかりやすい情報が得られるとうれしいです。
20～29歳	せつかくのインターネット社会とマイナンバー制度なのだから、この2つを上手く使えば、不正投票の心配もなくネット投票のシステムを整えることが出来ると思う。
	今の政治の状況や、各党の政策の違い、投票の大切さをちゃんと頭の中でかみくだいて理解出来ていない人が沢山いると思うので、せめて、最低でも大学生までは政治に対する教育が必要なのではないのでしょうか。また、大学生は、住民票が今住んでいる所ではなくて、実家にあるがために投票に行かないという人も実際にはいるため、その対策も重要なのではないのでしょうか。あと、社会人でも、今のある党に、自分が支持したい党がないから投票に行かないという人も実際にいるので、この問題についても、何か対策が必要なのではないのでしょうか。
	自分が投票してもしなくても何も変わらないのではないかと感じてしまう。また、最近は政治家の不祥事が目立ち、どの候補者にも裏の顔があるのではないかと疑ってしまい、投票する気がなくなる。
	若い世代の投票率はネット投票をすれば高くなると思う。早く制度を整えて解禁すべき。同時に、政治にかかわる教育を強化する必要があると思う。また、メディア【テレビ、ネット、新聞等】の報道の在り方に対して、議論や法制度が必要である。投票率が低いと叫ぶ前に、教育や報道に関してやることがたくさんある。放置してきた今までの世代の罪は大きい。今はまず、一つずつ環境を整えていくことから始めるべき。
	若者の投票率が嘆かれ、市や県は啓発を行っていますが、担当の範ちゅうではないかもしれませんが、「投票へ行きましょう」だけだとなかなか響かない。候補者の違いや政策の見極め方など、具体的な選ぶ基準に踏み込んで授業などで教育したほうが、選挙に親しみを持てるのではないかと思います。
	選挙を行う年代に傾りが出ていることは、国民全員の意志が反映されていないと思う。もっと真剣に考える機会がほしい。また、18歳以上となってから、若い人に向けた分かりやすい説明があるとうれしい。
	投票に行きたい気持ちはあるけど、地元で誰が立候補しているかもよく分からなかった。もっと、SNSを活用した選挙活動があってもいいと思う。
	同世代の人があまり投票に行かないことに、私も問題を感じています。選挙に関する教育を活発化し、「政治に対して受け身ではなく、疑問を持って攻める姿勢を忘れることのないように」と、啓発することが必要であると思います。
	難しいのかもしれないが、もっと手軽に投票できるようにすると良いと思う。ネット、メール、ショッピングセンター等での投票。本人確認なし、あと、政党、候補者の演説ももっとわかりやすく、聞きやすくしてみても良いのでは。
	今の高校生たちは、学校で選挙のことについて詳しく学習しているようだが、その少し上の年代はなぜ投票に行くのか、無効票でも投票する意味があることなどについて理解していない人が多いように思う。そういったところについて、投票に行くメリット・デメリットを若い人に向けて広く周知しなければいけないと思う。
SNSで選挙をもっとPRすべきである。	

## 問15に記載された主な意見(年代別)

年代	内容
30～39歳	生活の中で良くなったことをもっとPRしてほしい(施設・制度がわかりやすくなったなど)。その政党・候補者が働きかけたことでできるようになったことや、なくなったことがわかりにくい。そのため、どこに投票するか分からず、投票率が伸びない面もあるのではないかな。
40～49歳	10代～20代の方の投票率を上げると共に、政治、経済に関心を持てる環境・教育が必要だと強く思います。(具体策は、なかなか思いつきませんが…)
	ショッピングセンターでの選挙は投票率を上げるのに良い方法だと思うので、どんどんやるべきだと思う。
	マイナンバーカードで認証しウェブ投票できるようにしてほしい。
	「選挙に行ってもどうせ何も変わらない」という冷めた空気が漂う現代社会において、少しでも「選挙に行くことで社会を変えられる」という気持ちを持てるように、大人たちが様々な努力をしなければならぬと思います。普及・啓発活動や公共性を育てる教育も大切ですが、まずは議員たちがしっかりと仕事をする事。そして市民たちがそれをしっかり監視していくことが重要ではないかと考えます。
50～59歳	群馬県に限らないことですが、都市部より町村部の方が投票率が高い。それは、近所づきあいとか、頼まれたからという理由が多分多く、政策や信条などを理解して、候補者を自らよくリサーチして選んでいる訳でもないでしょう。学校教育で政治を学問や教科として学ぶのではなく、生活に密接した、現実の日常にとってとても大事なことで、それは国民の一票で変えることもできるのだという教育が必要。改憲に対する国民投票の前にしっかり教育すべし。
	今回は、台風の影響で期日前投票をさせて頂きましたが、こういう投票方法があると助かります。
	若い人達がほとんど選挙に行っていない。投票が一部の年齢層の人達による、支持された政治家によって、政治が行われることに、危惧がある。若い層の人達が正しく政治家を見る力をつける方法は、やはり教育なのだろうか？
	投票の機会、場所を増やし、政治への関心を促すことが必要。
60～69歳	投票という参政権が与えられているのに投票しないのはもったいない。政治家は自己保身、自己利益のみで動いている。残念です。孫や子供達のために「いい国・日本を」残してやりたい。
	インターネットによる投票を検討してもらいたい。
	学校での教育が大切だと思う。中立性は大切だと思いますが、自分たちの意見を市町村から県、国政に反映させる機会というのに無関心でいて、何かあると文句を言うのはおかしい気がする。
	期日前投票が充実してくると、投票率が向上すると思う。
	残念ですが議員に魅力のない人が多い。もっと国民のことをしっかり考える人が出てきてほしい。選ぶ権利を有効に使うためにも。
	若い者たちがもっと政治に関心を持って、自分の一票が社会を変える力があることを知ってほしいです。
	小・中・高・大学で選挙を模擬的に実施する。
	大学で家を離れている子供が成人しても、投票しにくい。それが棄権の習慣になると思う、不在者投票制度をもっとPRしてはどうでしょうか？
	投票率の低下を何とかしなければと思うが、関心のない人が投票だけを適当にするのも心配です。やはり政治に関心を持つ教育が必要かと思えます。
70～79歳	「誰がなっても同じ」という考えでは国は変わらない。若い人ほどこれからの日本を作るため選挙に関心をもってもらいたい、若い人あなた達の未来ですよ。
	期日前投票所のお知らせを、もう少し徹底して(回覧板)もらえば投票率向上につながると思います。
	議員としての自覚と責任を持っていたら、色々なニュースやマスコミの材料になるようなことがなくなると思う。自覚と責任で有権者の気持ちも変わっていくと思います。
	自分の子どもにも参加するよう話しているが、変わらないからと行かないことが多い。選挙をしても身近なことの変化が実感できない。
	若者の選挙離れ多い→小・中・高と学校でもっと教える。
	小選挙区制は民意が正しく反映されないの、見直す必要性を感じる。
	政治に対する関心は子供の頃からの教育が本当に大事だと思う。これからは、自分の住む地域のみに興味を持つだけでなく、グローバルな見地からの教育が求められていると思う。教育委員会の方々にも是非この面のこととも考慮に入れて欲しいです。(政治性のある教育は難しいと思いますが…)

選挙に関するアンケート

## 7 アンケート様式



# 選挙に関するアンケート

あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか、○をつけてください。

年 齢	1. 18～19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳
	4. 40～49歳	5. 50～59歳	6. 60～69歳
	7. 70歳以上		

1. このアンケートは、選挙の認知手段や投票行動等を集計分析することで、今後の選挙啓発に役立てるための基礎資料として、みなさまの考え方をお聞かせいただくものです。
2. 質問文に対して、最も適当と思われる番号等に直接「○」をつけてください。また、その他を選択した場合は、( ) 内にその内容を具体的に記入してください。
3. みなさまからいただいたアンケート結果は、1. の調査目的以外に使用されることは一切ありません。集計結果は、市のホームページなどでお知らせします。
4. その他、ご不明な点は、下記へお問い合わせください。

問合せ先

前橋市明るい選挙推進協議会事務局（市役所 選挙管理委員会事務局内）  
直通電話 027-898-6742

問1 あなたは、投票に行っていますか。（○はひとつ）

- 1 毎回行っている
- 2 たまに行く
- 3 ほとんど行かない
- 4 行ったことがない
- 5 その他（ ）

問2 問1で、「1 毎回行っている」「2 たまに行く」を選択した場合にお答え下さい、あなたが投票へ行く理由は何ですか。（複数回答可）

- 1 支持したい政党や候補者がいるから
- 2 投票することに義務感を持っているから
- 3 投票するのは国民の権利だから
- 4 政治に不満があるのでそれを改めたいから
- 5 家族や知り合いに頼まれたから
- 6 その他（ ）

問3 問1で「3 ほとんど行かない」「4 行ったことがない」を選択した場合にお答え下さい、あなたが投票へ行かない理由は何ですか。（複数回答可）

- 1 仕事や用事があるから
- 2 病気などの身体の都合で行けないから
- 3 投票所の場所がわからないから
- 4 投票所へ行くのが面倒だから
- 5 選挙にあまり関心がないから
- 6 選挙があるのを知らないから
- 7 候補者の人柄や政策がわからないから
- 8 その他（ ）



**問4** あなたは、どの選挙に関心がありますか。(複数回答可)

- 1 衆議院議員選挙
- 2 参議院議員選挙
- 3 県知事選挙
- 4 県議会議員選挙
- 5 市長選挙
- 6 市議会議員選挙
- 7 どれも関心がない

**問5** あなたは、投票日当日に投票へ行けない方のための「期日前投票制度」をご存知ですか。(○はひとつ)

- 1 知っている
- 2 多少知っている
- 3 ほとんど知らない
- 4 知らない

※「期日前投票制度」とは

投票日当日に投票に行けない人などが、あらかじめ投票日より前に投票日当日の投票所と同様に、期日前投票所で投票用紙を直接投票箱に入れることができます。

**問6** あなたは、出張で他市区町村に滞在している場合や、ケガや病気で病院に入院している場合でも投票ができる「不在者投票制度」をご存知ですか。(○はひとつ)

- 1 知っている
- 2 多少知っている
- 3 ほとんど知らない
- 4 知らない

※「不在者投票制度」とは

投票日当日に投票に行けない人などが、期日前投票所以外の指定された場所であらかじめ投票日より前に投票できる制度です。仕事や旅行などで他の市区町村に滞在している方は、滞在先の市区町村の選挙管理委員会で投票できます。また、都道府県選挙管理委員会で指定した病院に入院している方や、老人ホーム及び障害者支援施設などに入所している方は、その施設内で投票することができます。

**問7** 最近の選挙で課題となっている、投票日当日の投票率が低いことについて、あなたは関心がありますか。(○はひとつ)

- 1 大変関心がある
- 2 まあまあ関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 全く関心がない



問8 選挙への関心を高め投票率の向上を図るためには、どうすればよいと思いますか。( )内のどちらかに○を付けてください。

- 1 市が選挙の大切さをもっとPRする (そう思う・そう思わない)
- 2 選挙に関する教育を充実させる (そう思う・そう思わない)
- 3 選挙への関心を高める講座等を行う (そう思う・そう思わない)
- 4 候補者や政党の報道を増やす (そう思う・そう思わない)
- 5 SNS等を活用した情報発信を行う (そう思う・そう思わない)
- 6 駅や大学などに投票所を設ける (そう思う・そう思わない)
- 7 政治家と接する機会を設ける (そう思う・そう思わない)
- 8 家庭や地域で選挙について話し合う (そう思う・そう思わない)
- 9 その他 ( )

問9 選挙での投票率が低いことについて、その原因として考えられるのは何だと思いませんか。(複数回答可)

- 1 市における選挙のPR活動が足りない
- 2 政治に対する関心の低下
- 3 投票しても政治や暮らしが良くなるらない
- 4 政治への不信や不満のあらわれ
- 5 政党や候補者の政策がわかりづらい
- 6 支持する政党や候補者がいない
- 7 その他 ( )

問10 選挙管理委員会では、さまざまな方法で選挙の啓発を行っていますが、あなたが見たり聞いたりしたものはありますか。(複数回答可)

- 1 入場券
- 2 ポスター掲示場
- 3 市のホームページ・メールマガジン
- 4 市の広報紙
- 5 選挙公報(新聞折込)
- 6 啓発ポスター・卓上広告
- 7 テレビやラジオのCM、新聞広告
- 8 街頭での啓発活動
- 9 啓発グッズ(花の種・ポケットティッシュなど)
- 10 タクシー・公用車のマグネットシート
- 11 公共施設・大学・商店街ののぼり旗
- 12 JR各駅・市庁舎・商業施設等での横断幕、懸垂幕
- 13 スピーカー付き広報車での呼びかけ
- 14 特にない



問 11 あなたが、候補者や政党を選ぶ際に役立てる情報としては、何を見て判断していますか。(複数回答可)

- 1 新聞折込されている選挙公報
- 2 候補者や政党による演説会・街頭演説
- 3 候補者や政党のビラやはがき
- 4 ポスター掲示場の候補者ポスター
- 5 テレビやラジオによる選挙報道や政見放送
- 6 インターネット情報(候補者や政党のホームページ)
- 7 新聞の情報(選挙報道や広告)
- 8 特にない
- 9 その他( )

問 12 あなたは、政治や選挙について、次の方々と話をすることはありますか。(複数回答可)

- 1 家族
- 2 友人・知人
- 3 仕事関係(アルバイト含む)の人
- 4 近所の人
- 5 話さない
- 6 その他( )

問 13 あなたのご家族は投票に行っていますか。(〇はひとつ)

- 1 投票に行っている
- 2 投票に行っていない
- 3 わからない
- 4 その他( )

問 14 あなたは、ご家族と一緒に投票へ行ったことがありますか。(〇はひとつ)

- 1 行ったことがある
- 2 行ったことがない
- 3 覚えていない

問 15 最後に、選挙についてご意見などがありましたら、お聞かせください。

.....

.....

.....

.....

.....

**質問は以上です。ご協力ありがとうございました。**



お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**11月30日(木)**までに返送いただきますようお願いいたします。

(住所・氏名の記入は不要です。)

平成30年8月

発行：前橋市選挙管理委員会事務局

住所：〒371-8601 群馬県前橋市大手町二丁目12-1

TEL：027-898-6742（直通） FAX：027-221-5717

E-mail：senkan@city.maebashi.gunma.jp